

書名	著者	冊	定價	郵稅	發行所	番號	書名	著者	冊	定價	郵稅	發行所	番號
智惠進め	藤坊山人	一	一〇〇	一〇	山堂	一五	交際遊藝	當世通人	一	一〇〇	一〇	精華堂	二四
和洋かるた獨占ひ	喜内又之助	一	一〇〇	一〇	山堂	一五	安樂傳授法	羽化仙史	一	一〇〇	一〇	大學館	二六
改良手品	奇坊	一	一〇〇	一〇	山堂	一五	奇術秘訣	柄澤照覺	一	一〇〇	一〇	永樂堂	二七
改良奇術	松井昇陽齋	一	一〇〇	一〇	山堂	一五	奇術秘訣	柄澤照覺	一	一〇〇	一〇	永樂堂	二七
家庭遊戯博士	川村花曉	一	一〇〇	一〇	山堂	一五	奇術秘訣	柄澤照覺	一	一〇〇	一〇	永樂堂	二七
應用考物百話	三上泰正	一	一〇〇	一〇	山堂	一五	奇術秘訣	柄澤照覺	一	一〇〇	一〇	永樂堂	二七
夜の快樂	三好勿來	一	一〇〇	一〇	山堂	一五	奇術秘訣	柄澤照覺	一	一〇〇	一〇	永樂堂	二七
期米相場極意秘藏書	柄澤照覺	一	一〇〇	一〇	山堂	一五	奇術秘訣	柄澤照覺	一	一〇〇	一〇	永樂堂	二七
相談の相談	都新聞社	一	一〇〇	一〇	山堂	一五	奇術秘訣	柄澤照覺	一	一〇〇	一〇	永樂堂	二七
通の相談	伊藤櫻雨	一	一〇〇	一〇	山堂	一五	奇術秘訣	柄澤照覺	一	一〇〇	一〇	永樂堂	二七
奇談怪世	鈴木華選	一	一〇〇	一〇	山堂	一五	奇術秘訣	柄澤照覺	一	一〇〇	一〇	永樂堂	二七
軍人おどろ	思邦山人	一	一〇〇	一〇	山堂	一五	奇術秘訣	柄澤照覺	一	一〇〇	一〇	永樂堂	二七
西洋魔術	術江	一	一〇〇	一〇	山堂	一五	奇術秘訣	柄澤照覺	一	一〇〇	一〇	永樂堂	二七
科學競馬之秘訣	仲藏	一	一〇〇	一〇	山堂	一五	奇術秘訣	柄澤照覺	一	一〇〇	一〇	永樂堂	二七
拳の打振	小西可東	一	一〇〇	一〇	山堂	一五	奇術秘訣	柄澤照覺	一	一〇〇	一〇	永樂堂	二七
妙々フシギノアテモノ	不思議堂	一	一〇〇	一〇	山堂	一五	奇術秘訣	柄澤照覺	一	一〇〇	一〇	永樂堂	二七

書名	著者	冊	定價	郵稅	發行所	番號	書名	著者	冊	定價	郵稅	發行所	番號
秘術傳法	博文館編輯局	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇	學窓	御子榮明	一	一〇〇	一〇	風館	一六
西洋手品の種明し	松旭齋天一	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇	學窓	御子榮明	一	一〇〇	一〇	風館	一六
西洋奇術自在	昇天齋一旭	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇	學窓	御子榮明	一	一〇〇	一〇	風館	一六
智識青年寶典	鹽人櫻濤	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇	學窓	御子榮明	一	一〇〇	一〇	風館	一六
粹人遊の友	當世通人	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇	學窓	御子榮明	一	一〇〇	一〇	風館	一六
○日記							懷中日記	博文館編輯局	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇
ポケット日記	文錦堂	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇	懷中日記	博文館編輯局	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇
各種用日記	博文館編輯局	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇	懷中日記	博文館編輯局	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇
新當用日記(特製)	圖書出版社	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇	懷中日記	博文館編輯局	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇
新當用日記(大形)	圖書出版社	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇	懷中日記	博文館編輯局	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇
新當用日記(小形)	圖書出版社	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇	懷中日記	博文館編輯局	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇
明治四當用日記(菊半裁)	鐘美堂編輯部	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇	懷中日記	博文館編輯局	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇
明治四當用日記(菊半裁)	鐘美堂編輯部	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇	懷中日記	博文館編輯局	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇
明治四當用日記(上製)	鐘美堂編輯部	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇	懷中日記	博文館編輯局	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇
明治四當用日記(上製)	鐘美堂編輯部	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇	懷中日記	博文館編輯局	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇
明治四當用日記(上製)	鐘美堂編輯部	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇	懷中日記	博文館編輯局	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇
明治四當用日記(上製)	鐘美堂編輯部	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇	懷中日記	博文館編輯局	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇
旅行日記	博文館編輯局	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇	懷中日記	博文館編輯局	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇
吾家の歴史	醫醒社	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇	懷中日記	博文館編輯局	一	一〇〇	一〇	博文館	二〇

(雜書) 雜書

七五三

書名	著譯者	冊	定價	郵稅	發行所	番號
新案拔萃帳小版 春陽堂編輯局		一	春陽堂	...
(五) 雜誌 各門參照						
冒險世界	博文館編輯局	博文館	...
女學世界	博文館編輯局	博文館	...
中學世界	博文館編輯局	博文館	...
汽船旅行案	博文館編輯局	博文館	...
航海案	博文館編輯局	博文館	...
世界	博文館編輯局	博文館	...
太平洋	博文館編輯局	博文館	...
太	博文館編輯局	博文館	...
農業	博文館編輯局	博文館	...
世界	博文館編輯局	博文館	...
婦女俱樂部	金港堂編輯局	金港堂	...
文藝俱樂部	博文館編輯局	博文館	...
幼年	博文館編輯局	博文館	...
少年	博文館編輯局	博文館	...
實業	博文館編輯局	博文館	...
人	博文館編輯局	博文館	...
英語	博文館編輯局	博文館	...
數學	博文館編輯局	博文館	...
世界	博文館編輯局	博文館	...

類別終

附錄目次

著作權及出版ニ關スル法令

著作權法	一頁
著作權ニ關スル登録手續	六
著作權不明ノ著作物ニ關スル件	七
登録稅法鈔錄	八
著作權ニ關スル登録簿閱覽日	八
出版法	八
豫約出版法	二
新聞紙法	二
保證金ニ充ツベキ有價證券	一九
第二種郵便物認可規則	二〇
約束郵便取扱規則	二三
定期刊行物ニ關スル注意	二三
郵便物包裝規則	二四
著作權ニ關スル條約	二五
文學的及美術的著作物保護修正「ベルヌ」條約	二五

文學的及美術的著作物保護同盟	三
日米間著作權保護條約	五
清國ニ於ケル著作權其他ノ日米條約	七
著作權及出版ニ關スル願届書式	
著作權ニ關スル書式	
著作權登錄願	六
著作權讓渡(質入)登錄願	六
實名登錄願	六
出版ニ關スル書式	
出版願	九
再版願	四〇
學術(技藝、統計、廣告)雜誌出版願	四〇
學術(技藝、統計、廣告)雜誌出版手續省略願	四〇
東京書籍商組合員	四一

附錄目次終

附錄

著作權及出版ニ關スル法令

●著作權法

(明治三十二年三月法律第三十九號設定)
(明治四十三年六月法律第六十三號改正)

第一章 著作權ノ權利

第一條 文章演述圖畫建築彫刻模型寫真其ノ他文藝學術若ハ美術ノ範圍ニ屬スル著作物ノ著作權ハ其ノ著作物ヲ複製スルノ權利ヲ專有ス

文藝學術ノ著作物ノ著作權ハ翻譯權ヲ包含シ各種ノ脚本及樂譜ノ著作權ハ興業權ヲ包含ス

第二條 著作權ハ之ヲ讓渡スルコトヲ得

第三條 發行又ハ興行シタル著作物ノ著作權ハ著作權ノ生存間及其ノ死後三十年間繼續ス

數人ノ合著作ニ係ル著作物ノ著作權ハ最終ニ死亡シタル者ノ死後三十年間繼續ス

第四條 著作權ノ死後發行又ハ興行シタル著作物ノ著作權ハ發行又ハ興行ノトキヨリ三十年間繼續ス

第五條 無名又ハ變名著作物ノ著作權ハ發行又ハ興行ノトキヨリ三十年間繼續ス但シ其期間内ニ著作權者其

ノ實名ノ登録ヲ受ケタルトキハ第三條ノ規定ニ從フ

第六條 官公衙學校社寺協會會社其ノ他團體ニ於テ著作ノ名義ヲ以テ發行又ハ興行シタル著作物ノ著作權ハ發行又ハ興行ノトキヨリ三十年間繼續ス

第七條 著作權者原著作物發行ノトキヨリ十年内ニ其翻譯物ヲ發行セサルトキハ其翻譯權ハ消滅ス

前項ノ期間内ニ著作權者其ノ保護ヲ受ケントスル國語ノ翻譯物ヲ發行シタルトキハ其ノ國語ノ翻譯權ハ消滅セス

第八條 冊號ヲ逐ヒ順次ニ發行スル著作物ニ關シテハ前四條ノ期間ハ每冊若ハ每號發行ノトキヨリ起算ス一部分ツツヲ漸次ニ發行シ全部完成スル著作物ニ關シテハ前四條ノ期間ハ最終部分ノ發行ノトキヨリ起算ス但シ三年ヲ經過シ仍繼續ノ部分ヲ發行セサルトキハ既ニ發行シタル部分ヲ以テ最終ノモノト看做ス

第九條 前六條ノ場合ニ於テ著作權ノ期間ヲ計算スルニハ著作權者死亡ノ年又ハ著作物ヲ發行又ハ興行シタル年ノ翌年ヨリ起算ス

第十條 相續人ナキ場合ニ於テ著作權ハ消滅ス

第十一條 左ニ記載シタルモノハ著作權ノ目的物ト爲ルコトヲ得ス

附

一 法律命令及官公文書
 二 新聞紙ニ記載シタル雜報時事ノ記事
 三 公開セル裁判所、議會並政談集會ニ於テ爲シタル演述
 第十二條 無名又ハ變名著作物ノ發行者又ハ興行者ハ著作權者ニ屬スル權利ヲ保全スルコトヲ得但シ著作者其ノ實名ノ登錄ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス
 第十三條 數人ノ合著作ニ係ル著作物ノ著作權ハ各著作者ノ共有ニ屬ス
 各著作者ノ分擔シタル部分明瞭ナラサル場合ニ於テ著作者中ニ其ノ發行又ハ興行ヲ拒ム者アルトキハ他ノ著作者ハ其ノ者ニ賠償シテ其ノ持分ヲ取得スルコトヲ得但シ反對ノ契約アルトキハ此ノ限ニ在ラス
 各著作者ノ分擔シタル部分明瞭ナル場合ニ於ル著作者中ニ其ノ發行又ハ興行ヲ拒ム者アルトキハ他ノ著作者ハ自己ノ部分ヲ分擔シ單獨ノ著作物トシテ發行又ハ興行スルコトヲ得但シ反對ノ契約アルトキハ此ノ限ニ在ラス
 本條第二項ノ場合ニ於テハ發行又ハ興行ヲ拒ミタル著作者ノ意ニ反シテ其ノ氏名ヲ其ノ著作物ニ掲クルコトヲ得ス

錄

第十四條 數多ノ著作物ヲ適法ニ編輯シタル者ハ著作者ト看做シ其ノ編輯物全部ニ付テノ著作權ヲ有ス但シ各部ノ著作權ハ其ノ著作者ニ屬ス
 第十五條 著作權ノ相續讓渡及質入ハ其ノ登錄ヲ受クルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス無名又ハ變名著作物ノ著作者ハ其ノ實名ノ登錄ヲ受クルコトヲ得
 第十六條 登錄ハ行政廳之ヲ行フ
 登錄ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
 第十七條 未タ發行又ハ興行セサル著作物ノ原本及其ノ著作權ハ債權者ノ爲ニ差押ヲ受クルコトナシ但シ著作權者ニ於テ承諾ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス
 第十八條 著作權ヲ承繼シタル者ハ著作者ノ同意ナクシテ其ノ著作者ノ氏名稱號ヲ變更シ若ハ其ノ題號ヲ改メ又ハ其ノ著作物ヲ改竄スルコトヲ得ス
 第十九條 原著作物ニ訓點、傍訓、句讀、批評、註解、附錄、圖畫ヲ加ヘ又ハ其ノ他ノ修正増減ヲ爲シ若ハ翻案シタルカ爲新ニ著作權ヲ生スルコトナシ但シ新著作物ト看做サルハキモノハ此ノ限ニ在ラス
 第二十條 新聞紙ニ掲載シタル記事ニ關シテハ小説及

附

文藝學術若ハ美術ノ範圍ニ屬スル著作物ヲ除クノ外著作權者カ特ニ轉載ヲ禁スル旨ヲ明記セサルトキハ其出所ヲ明示シテ轉載スルコトヲ得
 第二十一條 翻譯者ハ著作者ト看做シ本法ノ保護ヲ享有ス但シ原著者ノ權利ハ之カ爲ニ妨ケラルルコトナシ
 第二十二條 原著作物ト異リタル技術ニ依リ適法ニ美術上ノ著作物ヲ複製シタル者ハ著作權者ト看做シ本法ノ保護ヲ享有ス
 第二十三條 寫眞著作權ハ十年間繼續ス
 前項ノ期間ハ其ノ著作物ヲ始メテ發行シタル年ノ翌年ヨリ起算ス若シ發行セサルトキハ種板ヲ補作シタル年ノ翌年ヨリ起算ス
 寫眞術ニ依リ適法ニ美術上ノ著作物ヲ複製シタル者ハ原著作物ノ著作權ト同一ノ期間内本法ノ保護ヲ享有ス但シ當事者間ニ契約アルトキハ其ノ契約ノ制限ニ從フ
 第二十四條 文藝學術ノ著作物中ニ挿入シタル寫眞ニシテ特ニ其ノ著作物ノ爲ニ著作シ又ハ著作セシメタルモノナルトキハ其ノ著作權ハ文藝學術ノ著作者ニ屬シ其著作權ト同一ノ期間内繼續ス

錄

第二十五條 他人ノ囑托ニ依リ著作シタル寫眞肖像ノ著作權ハ其ノ囑托者ニ屬ス
 第二十六條 寫眞ニ關スル規定ハ寫眞術ト類似ノ方法ニ依リ製作シタル著作物ニ準用ス
 第二十七條 著作權者ノ不明ナル著作物ニシテ未タ發行又ハ興行セサルモノハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ發行又ハ興行スルコトヲ得
 第二十八條 外國人ノ著作權ニ付テハ條約ニ別段ノ規定アルモノヲ除ク外本法ノ規定ヲ適用ス但シ著作權保護ニ關シ條約ニ規定ナキ場合ニハ帝國ニ於テ始メテ其ノ著作物ヲ發行シタル者ニ限り本法ノ保護ヲ享有ス
 第二章 僞作
 第二十九條 著作權ヲ侵害シタル者ハ僞作者トシ本法ニ規定シタルモノノ外民法第三編第五章ノ規程ニ從ヒ之ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スルノ責ニ任ス
 第三十條 既ニ發行シタル著作物ヲ左ノ方法ニヨリ複製スルハ僞作ト看做ナス
 第一 發行スルノ意思ナク且機械的又ハ化學的方法ニ依ラスシテ複製スルコト
 第二 自己ノ著作物中ニ正當ノ範圍内ニ於テ節錄引

附

用スルコト

第三 普通教育上ノ修身書及讀本ノ目的ニ供スル爲ニ正當ノ範圍内ニ於テ拔萃蒐輯スルコト

第四 文藝學術ノ著作物ノ文句ヲ自己ノ著作シタル脚本ニ挿入シ又ハ樂譜ニ充用スルコト

第五 文藝學術ノ著作物ヲ説明スルノ材料トシテ美術上ノ著作物ヲ挿入シ又ハ美術上ノ著作物ヲ説明スルノ材料トシテ文藝學術ノ著作物ヲ挿入スルコト

第六 圖畫ヲ彫刻物模型ニ作り又ハ彫刻物模型ヲ圖畫ニ作ルコト

本條ノ場合ニ於テハ其出所ヲ明示スルコトヲ要ス

第三十一條 帝國ニ於テ發賣頒布スルノ目的ヲ以テ僞作物ヲ輸入スル者ハ僞作者ト看做ス

第三十二條ノ一 練習用ノ爲ニ著作シタル問題ノ解答書ヲ發行スル者ハ僞作者ト看做ス

第三十二條ノ二 活版寫眞術ニ依リ他人ノ著作物ヲ複製シ又ハ興行スル者ハ僞作者ト看做ス

第三十三條 善意ニシテ且過失ナク僞作ヲ爲シテ利益ヲ受ケ之カ爲ニ他人ニ損失ヲ及ホシタル者ハ其ノ利益ノ存スル限度ニ於テ之ヲ返還スルノ義務ヲ負フ

第三十四條 數人ノ合著作ニ係ル著作物ノ著作権者ハ僞作ニ對シ他ノ著作権者ノ同意ナクシテ告訴ヲ爲シ及自己ノ持分ニ對スル損害ノ賠償ヲ請求シ又ハ自己ノ持分ニ應シテ前條ノ利益ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第三十五條 僞作ニ對シ民事ノ訴訟ヲ提起スル場合ニ於テハ既ニ發行シタル著作物ニ於テ其ノ著作物トシテ氏名ヲ掲ケタル者ヲ以テ其ノ著作物ト推定ス

無名又ハ變名著作物ニ於テハ其ノ著作物ニ發行者トシテ氏名ヲ掲ケタル者ヲ以テ其ノ發行者ト推定ス

未タ發行セサル脚本及樂譜ノ興行ニ關シテハ其ノ興行ニ著作物トシテ氏名ヲ顯ハシタル者ヲ以テ其ノ著作物ト推定ス

著作物ノ氏名ヲ顯ハサザルトキハ其ノ興行者ヲ以テ其ノ著作物ト推定ス

第三十六條 僞作ニ關シ民事ノ出訴又ハ刑事ノ起訴アリタルトキハ裁判所ハ原告又ハ告訴人ノ申請ニ依リ保證ヲ立テシメ又ハ立テシメスシテ假ニ僞作ノ疑アル著作物ノ發賣頒布ヲ差止め若ハ之ヲ差押ヘ又ハ其ノ興行ヲ差止ムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ僞作ニ非サル旨ノ判決確定シタル

録

トキハ申請者ハ差止又ハ差押ヨリ生シタル損害ヲ賠償スルノ責ニ任ス

第三章 罰 則

第三十七條 僞作ヲ爲シタル者及情ヲ知テ僞作物ヲ發賣シ又ハ頒布シタル者ハ五十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十八條 第十八條ノ規定ニ違反シタル者ハ三十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十九條 第二十條及第三十條第二項ノ規定ニ違反シ出所ヲ明示セスシテ複製シタル者並第十三條第四項ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十條 著作物ニ非ラサル者ノ氏名稱號ヲ附シテ著作物ヲ發行シタル者ハ三十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十一條 著作権ノ消滅シタル著作物ト雖モ之ヲ改竄シテ著作物ノ意ヲ害シ又ハ其ノ題號ヲ改メ若ハ著作物ノ氏名稱號ヲ隱匿シ又ハ他人ノ著作物ト詐稱シテ發行シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十二條 虛偽ノ登錄ヲ受ケタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十三條 僞作物及專ラ僞作ノ用ニ供シタル器械

具ハ僞作者、印刷者、發賣者及頒布者ノ所有ニ在ル場合ニ限り之ヲ沒收ス

第四十四條 本章ニ規定シタル罪ハ被害者ノ告訴ヲ待テ其ノ罪ヲ論ス但シ第三十八條ノ場合ニ於テ著作物ノ死亡シタルトキ並第四十條乃至第四十二條ノ場合ハ此限ニ在ラス

第四十五條 本章ノ罪ニ對スル公訴ノ時効ハ二年ヲ經過スルニ因リテ完成ス

第四章 附 則

第四十六條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

明治二十六年法律第十六號版權法明治二十年勅令第七十八號脚本樂譜條例明治二十年勅令第七十九號寫眞條例ハ本法施行ノ日ヨリ廢止ス

第四十七條 本法施行前ニ著作権ノ消滅セサル著作物ハ本法施行ノ日ヨリ本法ノ保護ヲ享有ス

第四十八條 本法施行前僞作ト認メラレサリシ複製物ニシテ既ニ複製シタルモノ又ハ複製ニ著手シタルモノハ之ヲ完成シテ發賣頒布スルコトヲ得

前項ノ複製ノ用ニ供シタル器械器具ノ現存スルトキハ本法施行後五年間仍其ノ作製ノ爲之ヲ使用スルコトヲ得

録

附

附

第四十九條 本法施行前翻譯シ又ハ翻譯ニ著手シ其ノ當時ニ於テ僞作ト認メラレサリシモノハ之ヲ完成シテ發賣頒布スルコトヲ得但シ其ノ翻譯物ハ本法施行後七年内ニ發行スルコトヲ要ス

前項ノ翻譯物ハ發行後五年間仍之ヲ複製スルコトヲ得

第五十條 本法施行前既ニ興行シ若ハ興行ニ著手シ其當時ニ於テ僞作ト認メラレサリシモノハ本法施行後五年間仍之ヲ興行スルコトヲ得

第五十一條 第四十八條乃至第五十條ノ場合ニ於テハ命令ノ定ムル手續ヲ履行スルニ非サレハ其ノ複製物ヲ發賣頒布シ又ハ興行スルコトヲ得ス

●著作権ニ關スル登録手續

(明治四十三年六月十五日、内務省令第二十三號)

第一條 著作権ニ關スル登録ヲ受ケムトスル者ハ本手續ニ依リ内務大臣ニ願出ヘシ

第二條 登録願書ニハ左ノ區別ニ從ヒ各列記事項ヲ記載スルヲ要ス

一 相續登録ノ場合

著作物ノ題號及冊(箇)數
 著作權者ノ氏名
 相續人ノ氏名、住所(外國人ハ國籍及住所)

二 讓渡又ハ質入登録ノ場合
 著作物ノ題號及冊(箇)數
 讓渡人又ハ質入人ノ氏名、住所(外國人ハ國籍及住所)
 讓受人又ハ質取人ノ氏名、住所(外國人ハ國籍及住所)

三 質名登録ノ場合
 著作物ノ題號及冊(箇)數
 著作權者ノ稱號若無名著作物ナルトキハ其ノ旨
 著作權者ノ氏名、住所(外國人ハ國籍及住所)
 發行者ノ氏名、住所(外國人ハ國籍及住所)

四 質權相續登録ノ場合
 著作物ノ題號及冊(箇)數
 質入登録ノ年月日及番號
 質取人ノ氏名
 相續人ノ氏名、住所(外國人ハ國籍及住所)

五 質權讓渡登録ノ場合
 著作物ノ題號及冊(箇)數
 質入登録ノ年月日及番號
 質權讓渡人ノ氏名、住所(外國人ハ國籍及住所)

附

録

質權讓受人ノ氏名、住所(外國人ハ國籍及住所)

六 登録ノ更正變更抹消ノ場合
 著作物ノ題號及冊(箇)數
 登録ノ年月日及番號
 更正、變更、抹消ノ事項及其ノ理由
 願人ノ氏名住所

前項第一號乃至第三號ノ場合ニ於テハ願書ニ著作物ノ明細書ヲ添付スルノ外尙第一號及第四號ノ場合ニ於テハ戸籍謄本ヲ添付スヘシ

第三條 著作物ノ明細書ニハ左ノ事項ヲ記載スルヲ要ス

一 著作物ノ題號

二 著作權者ノ氏名稱號

三 著作ノ年月日

四 發行又ハ興行ノ年月日若發行又ハ興行ヲ爲ササルトキハ其ノ旨

五 著作物ノ内容又ハ體樣若著作物ノ體樣ヲ明瞭ナラシムル爲メ必要ナルトキハ其ノ圖面

六 著作物ニ付登録ヲ受ケタルコトアル場合ハ前登録ノ年月日

第四條 内務大臣ハ第一條ノ願出アリタルトキハ之ヲ

著作権及出版ニ關スル法令

登録簿ニ登録シ官報ニ公告ス

第五條 登録簿ノ閱覽又ハ其ノ謄本若クハ抄本ノ下付ハ何人モ之ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求ハ書面ヲ以テシ且ツ登録ノ年月日若クハ登録番號ヲ記入スヘシ

第六條 前條ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ左ノ區別ニ從ヒ手数料ヲ納ムヘシ

一 登録簿ノ閱覽 金 參拾錢

二 登録簿謄本ノ下付 原簿一枚毎ニ 金 參拾錢

三 登録簿抄本ノ下付 金 貳拾錢

前項ノ手数料ハ收入印紙ヲ用ユルモノトス

第七條 登録簿ノ閱覽ニ關スル日時ハ別ニ之ヲ定ム

附則

本令ハ明治四十三年法律第六十三號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十二年内務省令第二十八號ハ之ヲ廢止ス

●著作者不明ノ著作物ニ關スル件

(明治三十二年六月、内務省令第二十七號)

著作權法第二十七條ニ依リ著作物ヲ發行又ハ興行セン
トスル者ハ其ノ由著作物ノ題號及著作ノ氏名稱號等
ヲ官報及東京ノ四社以上ノ重ナル新聞紙並ニ著作ノ
氏名住所明ナル場合ハ其居住地ノ新聞紙ニ七日以上廣
告スヘシ
前項期日ノ最終日ヨリ六箇月以内ニ著作權者ノ出テサ
ルトキハ之ヲ發行又ハ興行スルコトヲ得

●登録税法鈔録

(明治四十三年六月十四日、法律第六十四號)

登録税法第十條 著作權ニ關シ登録ヲ受クルトキハ左
ノ區別ニ從ヒ登録税ヲ納ムヘシ

- 一 著作權ノ移轉
相續 每一件 金一圓
相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金五圓
- 二 著作權ヲ目的トスル質權ノ設定
債權金額 千分ノ六
- 三 前號ノ權利ノ移轉
相續 每一件 金五十錢

相續以外ノ原因ニ因ル移轉

- 無名又ハ變名著作物ノ著作ノ實名登録 每一件 金一圓
- 登錄ノ更正、變更又ハ抹消 每一件 金二圓
- 債權金額ニ因リ課税額ヲ定ムル場合ニ於テ一定ノ債
權金額ナキトキハ債權ノ目的タルモノノ價格ヲ以テ
債權金額ト看做ス

●著作權ニ關スル登録簿閱覽日

(明治三十六年六月、内務省令第七十三號)

著作權ニ關スル登録簿ハ左ノ日時ニ於テ閱覽セシムル
モノトス
一 毎水曜日 午前十時ヨリ午後三時迄

●出版法

(明治二十六年四月、法律第十五號)

第一條 凡ソ機械舍密其ノ他何等ノ方法ヲ以テスルヲ
問ハス文書圖書ヲ印刷シテ之ヲ發賣シ又ハ頒布スル

附

フ出版ト云ヒ其ノ文書ヲ著述シ又ハ編纂シ若ハ圖書
ヲ作為スル者ヲ著作ト云ヒ發賣頒布ヲ擔當スル者
ヲ發行者ト云ヒ印刷ヲ擔當スル者ヲ印刷者ト云フ

第二條 新聞紙又ハ定期ニ發行スル雜誌ヲ除クノ外文
書圖書ノ出版ハ總テ此ノ法律ニ依ルヘシ但シ專ラ學
術、技藝、統計、廣告ノ類ヲ記載スル雜誌ハ此ノ法律
ニ依リ出版スルコトヲ得

第三條 文書圖書ヲ出版スルトキハ發行ノ日ヨリ到達
スヘキ日數ヲ除キ三日前ニ製本二部ヲ添ヘ内務省ニ
届出ヘシ

第四條 官廳ニ於テ文書圖書ヲ出版スルトキハ其ノ官
廳ヨリ發行前ニ製本二部ヲ内務省ニ送附スヘシ

第五條 出版届ハ著作又ハ其ノ相續者及發行者連印
ニテ之ヲ差出スヘシ但シ非賣品ハ著作又ハ發行者
ノミニシテ届出ルコトヲ得

版權ノ保證ナキ文書圖書ヲ出版スルトキ若ハ著作
又ハ其ノ相續者ヲ知ルヘカラサルトキハ其由ヲ記シ
發行者ヨリ差出スヘシ

學校、會社、協會等ニ於テ著作ノ名義ヲ以テ出版スル
文書圖書ハ其ノ學校、會社協會等ヲ代表スル者發行
者ト連印シテ之ヲ届出ヘシ

附

ヲモ發行セサル時ハ廢刊シタルモノト看做スヘシ
 第十一條 一タヒ出版版ヲ爲シタル文書圖書ノ再版ハ出版届ヲ要セスト雖若改正増減シ又ハ註解、附録、繪畫等ヲ加ヘタルトキハ仍第三條ニ依ルヘシ
 第十二條 演說若ハ講義ノ筆記ハ演說者若ハ講義者ヲ以テ著作トス但シ筆記者ニ於テ演說者若ハ講義者ノ承諾ヲ得テ自ラ之ヲ出版スルトキハ筆記者ヲ著作ト看做スヘシ此ノ場合ニ於テ記載ノ事項第十六條第十七條第十八條第十九條第二十一條第二十六條第二十七條ニ觸ルルトキハ演說者若ハ講義者筆記者ト同ク其ノ罪ヲ論ス
 公開ノ席ニ於テ爲シタル演說ヲ新聞紙若ハ雜誌ノ通信者ニ於テ筆記シ其新聞紙若ハ雜誌ニ記載シタルモノ及總テ演說者講義者ノ承諾ヲ經スシテ其ノ筆記ヲ出版シタルモノニ關シテハ演說者若ハ講義者ハ著作ノ責ニ任セス
 公開ノ席ニ於テ爲シタル演說ノ外ハ講義者又ハ演說者ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ他人ニ於テ其筆記ヲ出版スルコトヲ得ス但シ本項ニ違フ者ハ版權法ニ據リ其ノ責ニ任セシム
 第十三條 二種以上ノ著作若ハ演說講義ノ筆記ヲ編纂

シテ一部ノ書ト爲ストキハ編纂者ヲ著作ト看做スヘシ
 前條第一項ノ末段及第二項第三項ハ本條ニ適用スヘシ
 第十四條 翻譯ハ翻譯者ヲ以テ著作ト看做スヘシ
 第十五條 學校、會社、協會等ニ於テ著作ノ名義ヲ以テ出版スル文書圖書ハ其ノ出版届ニ署名シタル代表者ヲ以テ著作ト看做スヘシ
 第十六條 罪犯ヲ曲庇シ又ハ刑事ニ觸レタル者若ハ刑事裁判中ノ者ヲ救護シ若ハ賞恤スルノ文書ヲ出版スルコトヲ得ス
 第十七條 重罪輕罪ノ豫審ニ關スル事項ハ公判ニ付セサル以前ニ於テ之ヲ出版スルコトヲ得ス
 傍聽ヲ禁シタル訴訟ノ事項ハ之ヲ出版スルコトヲ得ス
 第十八條 外交軍事其ノ他官廳ノ機密ニ關シ公ニセサル官ノ文書及官廳ノ議事ハ當該官廳ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ出版スルコトヲ得ス
 法律ニ依リ傍聽ヲ禁シタル公會ノ議事ハ之ヲ出版スルコトヲ得ス
 第十九條 安寧秩序ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スルモノ

錄

附

ト認ムル文書圖書ヲ出版シタルトキハ内務大臣ニ於テ其ノ發賣頒布ヲ禁シ其ノ刻版及ヒ印本ヲ差押フルコトヲ得
 第二十條 外國ニ於テ印刷シタル文書圖書ニシテ安寧秩序ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルトキハ内務大臣ハ其ノ文書圖書ノ内國ニ於ケル發賣頒布ヲ禁シ其ノ印本ヲ差押フルコトヲ得
 第二十一條 軍事ノ機密ニ關スル文書圖書ハ當該官廳ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ出版スルコトヲ得ス
 第二十二條 第三條ノ届出ヲ爲サスシテ文書圖書ヲ出版シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス
 第二十三條 第六條ヲ犯ス者ハ十一日以上三月以下ノ輕禁錮又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス
 第二十四條 發行者自己ノ氏名、住所又ハ發行ノ年月日又ハ印刷者ノ氏名、住所又ハ印刷ノ年月日ヲ其ノ發行スル文書圖書ニ記載セス其ノ之ヲ記載スルモ實ヲ以テセサル者ハ二圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス
 第二十五條 印刷者自己ノ氏名、住所又ハ印刷ノ年月日ヲ其ノ印刷スル所ノ文書圖書ニ記載セス若ハ之ヲ記載スルモ實ヲ以テセサル者ハ罰前條ニ同シ
 住所ト印刷所ト同シカラサルトキ及印刷所ニシテ營

業上慣行ノ名稱アルトキ印刷所及ヒ名稱ヲ記載セサル者亦前項ニ同シ
 第二十六條 政體ヲ變壞シ國憲ヲ紊亂セムトスル文書圖書ヲ出版シタルトキハ著作、發行者、印刷者ヲ二年以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス
 第二十七條 風俗ヲ壞亂スル文書圖書ヲ出版シタルトキハ著作、發行者ヲ十一日以上六月以下ノ輕禁錮又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス
 第二十八條 第十六條第十七條第十八條第二十一條ニ觸ルル文書圖書ヲ出版シタルトキハ著作、發行者ヲ十一日以上一年以下ノ輕禁錮又ハ十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス
 第二十九條 第二十條ニ依リ發賣頒布ヲ禁セラレタル文書圖書ヲ發賣頒布シタル者罰前項ニ同シ其ノ未タ發賣頒布セサル文書圖書ハ之ヲ沒收ス
 第二十九條 第二十六條第二十七條第二十八條ノ場合ニ於テ刻版及印本ハ檢事ニ於テ假ニ之ヲ差押フルコトヲ得
 第三十條 前條ノ差押ヲ爲ストキハ製本ノ體裁ニヨリ其ノ差押フヘキ部分ト分割シ得ルニ於テハ之ヲ分割

スルコトアルヘシ

第三十一條 文書圖書ヲ出版シ因テ誹毀ノ訴ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ私行ニ涉ルモノヲ除クノ外裁判所ニ於テ專ラ公益ノ爲ニスルモノト認ムルトキハ被告人ニ事實ノ證明ヲ許スコトヲ得若シテ證明シタルトキハ其ノ罪ヲ免ス損害賠償ノ訴ヲ受ケタルトキモ亦同シ

第三十二條 此ノ法律ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ自首減輕、再犯加重、數罪俱發ノ例ヲ用キス

第三十三條 此ノ法律ニ關ル公訴ノ時効ハ一年ヲ經過スルニ因テ成就ス

第三十四條 此ノ法律ニ依リ出版スル雜誌ニシテ其ノ記載ノ事項第二條ノ範圍外ニ涉ルトキハ內務大臣ハ此ノ法律ニ依リテ出版スルコトヲ差止ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ一箇年ヲ經ルニ非サレハ更ニ此ノ法律ニ依リ出版スルコトヲ得ス

第三十五條 文書圖書ヲ印刷スルトキハ直ニ發賣頒布セスト雖其ノ目的發賣頒布ニ在ルモノハ總テ其ノ法律ニ依ル

●豫約出版法

(明治四十三年四月十五日、法律第五十五號)

第一條 代金ノ全部又ハ一部ヲ前收シ文書圖書ノ頒布ヲ豫約スル出版ニ對シテハ出版法ニ依ルノ外尙本法ヲ適用ス

第二條 發行者ハ左ノ事項ヲ記載シ內務大臣ニ届出ツヘシ

- 一 題號
- 二 發行ノ年月日及順次發行ノ場合ハ其ノ豫定年月日
- 三 著作者ノ氏名
- 四 内容、製本及紙數ノ概要
- 五 豫約定價及代金前收ノ方法
- 六 發行所
- 七 發行者ノ氏名、生年月日、法人ナルトキハ其ノ名稱及代表者ノ氏名

前項ノ届出ハ書面ヲ以テシ發行者又ハ其ノ法定代理人ヨリ豫約手續ニ著手ノ日ヨリ十日以前管轄地方官廳ニ之ヲ差出スヘシ

第三條 豫約出版物ニ付出版法ニ依リテ爲ス出版届書

附

ニハ第二條ニ依リテ届出ヲ爲シタルコト及其ノ年月日ヲ記載スヘシ

第四條 發行者又ハ其ノ法定代理人ハ第二條ノ届出ト同時ニ保證金トシテ管轄地方官廳ニ左ノ金額ヲ納ムヘシ

- 一 豫約定價十圓未満ハ金五百圓
 - 二 豫約定價十圓以上ハ金千圓
- 保證金ハ命令ヲ以テ定ムル種類ノ有價證券ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第五條 發行所、發行者ノ法定代理人、發行者法人ナルトキハ其ノ名稱及代表者ニ變更アリ又ハ發行者能力ヲ失ヒ、死亡若ハ解散シ又ハ死亡若ハ解散ニ因リ法律上豫約出版ヲ廢絶スルノ已ムヲ得サルニ至リタルトキハ十日以内ニ內務大臣ニ届出ツヘシ

前項ノ届出ハ書面ヲ以テシ發行者又ハ其ノ法定代理人、其ノ死亡ニ係ルトキハ相續人、相續人定マラス又ハ相續人ナキトキハ戸主若ハ同居ノ親族、法人ノ合併ニ因ル解散ニ係ルトキハ其ノ法人ノ權利及義務ヲ承繼シタル法人、破産ニ因ル解散ニ係ルトキハ破産管財人ヨリ管轄地方官廳ニ差出スヘシ

第六條 法律上已ムヲ得サルニ非カル豫約出版ノ廢絶

附

又ハ第二條第一項第一號乃至第五號ノ事項ノ變更及死亡若ハ解散ニ因ラサル發行者ノ變更ハ新舊發行者又ハ其ノ法定代理人ヨリ其ノ事由ヲ具シタル書面ヲ以テ豫メ管轄地方官廳ヲ經由シ內務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

別項ノ許可ハ豫約當事者ノ解除權行使ヲ妨ケラルルコトナシ

第七條 相續人又ハ法人ノ合併ニ因リ其ノ權利及義務ヲ繼承シタル法人ハ豫約出版ニ關スル權利及義務ヲ承繼ス

第八條 保證金ニ對スル權利及義務ハ發行者變更ノ場合ニ於テ承繼發行者之ヲ承繼ス

第九條 保證金ハ適法ニ豫約出版ヲ廢絶シ又ハ完全ニ豫約ヲ履行シタル後ニ非サレハ其ノ還付ヲ請求シ又ハ其ノ債權ヲ讓渡スルコトヲ得ス但シ國稅徵收法及之ヲ準用スル法令ヲ適用シ又ハ豫約解除若ハ豫約不履行ニ因リ代金返還若ハ損害賠償ヲ命スル判決ヲ執行スルハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 罰金又ハ刑事訴訟費用ヲ完納セサルトキハ檢事ハ保證金ノ全部又ハ一部ヲ之ニ充ツルコトヲ得

錄

附

第十條 發行者又ハ其ノ法定代理人ハ保證金ノ額額ヲ生シタル場合ニ於テ之ヲ填補スヘシ

第十一條 第二條、第四條ノ規定ニ依ラスシテ豫約手續ニ著手シ又ハ第六條若ハ第九條ニ違反シ又ハ管轄地方官廳ノ督促ヲ受ケタル後七日以内ニ保證金ヲ填補セサル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十三條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版セル文書圖書ニ之ヲ適用セス

(備考) 明治三十三年法律第五十二號ノ條文左ノ如シ
法人ニ於テ租稅及葉煙草專賣ニ關シテ犯アリタル場合ニ關スル件
(明治三十三年三月法律第五十二號)

第一條 法人ノ代表者又ハ其ノ雇人其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ租稅及葉煙草專賣ニ關スル法規ヲ犯シタル場合ニ於テハ各法規ニ規定シタル罰則ヲ法人ニ適用ス但シ其ノ罰則ニ於テ罰金科料以外ノ刑ニ處スヘキコトヲ規定シタルトキハ法人ヲ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二條 法人ヲ處罰スヘキ場合ニ於テハ法人ノ代表者ヲ以テ被告人トス

第三條 法人ヲ處罰スルノ裁判確定シタル日ヨリ罰金ニ關シテハ一月以内科料ニ關シテハ十日以内ニ之ヲ納完セサルトキハ民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒテ其ノ執行ヲ爲ス此ノ場合ニ於テハ檢事ノ命令ヲ以テ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ効力アルモノトス
前項ニ依リ執行ヲ爲スニハ執行前裁判ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス

新聞紙法

(明治四十二年五月法律第四十一號)

第一條 本法ニ於テ新聞紙ト稱スルハ一定ノ題號ヲ用キ時期ヲ定メ又ハ六箇月以内ノ期間ニ於テ時期ヲ定メスシテ發行スル著作物及定時期以外ニ本著作物ト同一題號ヲ用キテ臨時發行スル著作物ヲ謂フ

第二條 左ニ掲クル者ハ新聞紙ノ發行人又ハ編輯人タルコトヲ得ス

- 一 本法ヲ施行スル帝國領土内ニ居住セサル者
- 二 陸海軍軍人ニシテ現役若クハ召集中ノ者
- 三 未成年者禁治產者及準禁治產者
- 四 懲役又ハ禁錮ノ刑ノ執行猶豫中ノ者

第三條 印刷所ハ本法ヲ施行スル帝國領土外ニ之ヲ設クルコトヲ得ス

第四條 新聞紙ノ發行人ハ左ノ事項ヲ內務大臣ニ届出ツヘシ

附

録

一 題號

二 掲載事項ノ種類

三 時事ニ關スル事項ノ掲載ノ有無

四 發行ノ時期若時期ヲ定メサルトキハ其ノ旨

五 第一回發行ノ年月日

六 發行所及印刷所

七 持主ノ氏名、若法人ナルトキハ其ノ名稱及代表者ノ氏名

八 發行人、編輯人及印刷人ノ氏名年齢但シ編輯人二人以上アルトキハ其ノ主トシテ編輯事務ヲ擔當スル者ノ氏名年齢

前項ノ届出ハ持主又ハ其ノ法定代理人ノ連署シタル書面ヲ以テ第一回發行ノ日ヨリ十日以前ニ管轄地方官廳ニ差出スヘシ

第五條 前條第一項第一號乃至第三號ノ事項ノ變更ハ變更ノ日ヨリ十日以前ニ第四號若ハ第六號ノ事項又ハ持主、編輯人、印刷人ノ變更ハ變更前又ハ變更後七日以内ニ前條ノ手續ニ依リ發行人ヨリ之ヲ內務大臣ニ届出ツヘシ但シ持主變更ノ届出ニハ死亡ニ因ル場合ノ外新舊持主又ハ其法定代理人ノ連署ヲ要ス

第六條 死亡シ又ハ第二條ニ該當スルニ至リタル發行

人ノ權利及義務ヲ承繼シタル發行人ハ其發行人ト爲リタル日ヨリ七日以内ニ前條ノ手續ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ノ外發行人ノ變更ハ變更ノ日ヨリ十日以前ニ前條ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條 新聞紙ハ届出ヲ爲シタル發行時期又ハ發行休止ノ日ヨリ起算シテ百日間、三回發行ノ期間ヲ通シテ百日ヲ超ユル新聞紙ニ在リテハ三回發行ノ期間之ヲ發行セサルトキハ其ノ發行ヲ廢止シタルモノト看做ス

第八條 發行人若ハ編輯人死亡シ又ハ第二條ニ該當スルニ至リ後任ノ發行人若ハ編輯人ヲ定メサル間又ハ發行人若ハ編輯人一箇月以上本法ヲ施行スル帝國領土外ニ旅行スル場合ニ於テハ假發行人若ハ假編輯人ヲ設クルニ非サレハ新聞紙ノ發行ヲ爲スコトヲ得ス

發行人及編輯人ニ關スル本法ノ規定ハ假發行人及假編輯人ニ之ヲ準用ス

第九條 編輯人ノ責任ニ關スル本法ノ規定ハ左ニ掲クル者ニ之ヲ準用ス

- 一 編輯人以外ニ於テ實際編輯ヲ擔當シタル者
- 二 掲載事項ニ署名シタルモノ

附

三 正誤書、辯駁書ノ事項ニ付テハ其ノ掲載ヲ請求シタル者

第十條 新聞紙ニハ發行人、編輯人、印刷人ノ氏名及發行所ヲ掲載スヘシ

第十一條 新聞紙ハ發行ト同時ニ内務省ニ二部、管轄地方官廳、地方裁判所檢察局及區裁判所檢察局ニ各一部ヲ納ムヘシ

第十二條 時事ニ關スル事項ヲ掲載スル新聞紙ハ管轄地方官廳ニ保證トシテ左ノ金額ヲ納ムルニ非サレハ之ヲ發行スルコトヲ得ス

一 東京市、大阪市及其市外三里以内ノ地ニ於テハ二千圓

二 人口七萬以上ノ市又ハ區及其ノ市又ハ區外一里以内ノ地ニ於テハ千圓

三 其ノ他ノ地方ニ於テハ五百圓

前項ノ金額ハ一箇月三回以下發行スルモノニアリテハ其ノ半額トス

保證金ハ命令ヲ以テ定ムル種類ノ有價證券ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第十三條 保證金ニ對スル權利及義務ハ發行人變更ノ場合ニ於テ後任發行人之ヲ承繼スルモノトス

錄

第十四條 保證金ハ發行ヲ廢止シタルトキニ非サレハ其ノ還附ヲ請求シ又ハ其ノ債權ヲ讓渡スルコトヲ得ス但シ國稅徵收法及之ヲ準用スル法令ヲ適用シ又ハ名譽ニ對スル罪ニ因ル損害賠償ノ判決ヲ執行スルハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 保證金ヲ納ムル新聞紙ニ關シ發行人又ハ編輯人罰金又ハ刑事訴訟費用ノ言渡確定ノ日ヨリ十日以内ニ之ヲ完納セサルトキハ檢察官ハ保證金ノ全部又ハ一部ヲ之ニ充ツルコトヲ得

第十六條 保證金ハ其ノ額額ヲ生シタル場合ニ於テ之ヲ填補スルニ非サレハ其ノ新聞紙ヲ發行スルコトヲ得ス但シ額額ヲ生シタル日ヨリ七日以内ハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 新聞紙ニ掲載シタル事項ノ錯誤ニ付其ノ事項ニ關スル本人又ハ直接關係者ヨリ正誤又ハ正誤書、辯駁書ヲ掲載ヲ請求シタルトキハ其ノ請求ヲ受ケタル後次回又ハ第三回ノ發行ニ於テ正誤ヲ爲シ又ハ正誤書、辯駁書ノ全文ヲ掲載スヘシ

正誤、辯駁ハ原文ト同號ノ活字ヲ用ウヘシ

正誤、辯駁ノ趣旨法令ニ違反スルトキ又ハ請求者ノ氏名住所ヲ明記セサルトキハ之ヲ掲載スルコトヲ要ス

附

正誤書、辯駁書ノ字數原文ノ字數ヲ超過シタルトキハ其ノ超過ノ字數ニ付發行人ノ定メタル普通廣告料ト同一ノ料金を要求スルコトヲ得

第十八條 官報又ハ他ノ新聞紙ヨリ抄録セシ事項ニシテ官報又ハ新聞紙ニ於テ正誤シ又ハ正誤書、辯駁書ヲ掲載シタルトキハ本人又ハ直接關係者ノ請求ナシト雖其ノ官報又ハ新聞紙ヲ得タル後前條ノ例ニ依リ正誤シ又ハ正誤書辯駁書ヲ掲載スヘシ但シ料金を要求スルコトヲ得ス

第十九條 新聞紙ハ公判ニ付スル以前ニ於テ豫審ノ内容其ノ他檢事ノ差止メタル捜査又ハ豫審中ノ被告事件ニ關スル事項又ハ公開ヲ停メタル訴訟ノ辯論ヲ掲載スルコトヲ得ス

第二十條 新聞紙ハ官署、公署又ハ法令ヲ以テ組織シタル議會ニ於テ公ニセサル文書又ハ公開セサル會議ノ議事ヲ許可ヲ受ケスシテ掲載スルコトヲ得ス請願書又ハ訴願書ニシテ公ニセラレサルモノ亦同シ

第二十一條 新聞紙ハ犯罪ヲ煽動若ハ曲庇シ又ハ犯罪人若ハ刑事被告人ヲ賞恤若ハ救護シ又ハ刑事被告人ヲ陷害スルノ事項ヲ掲載スルコトヲ得ス

セ

第二十二條 第四條乃至第六條ノ届出ヲ爲サス若ハ届出ヲ爲スモ實ヲ以テセス又ハ保證金ヲ納メ若ハ之ヲ填補スヘキ場合ニ於テ之ヲ納メ若ハ之ヲ填補セシテ發行シタルトキハ正當ノ届出ヲ爲シ又ハ保證金ヲ納メ若ハ之ヲ填補スル迄管轄地方官廳ニ於テ新聞紙ノ發行ヲ差止ムヘシ

第二十三條 内務大臣ハ新聞紙掲載ノ事項ニシテ安寧秩序ヲ紊シ又ハ風俗ヲ害スルモノト認ムルトキハ其ノ發賣及頒布ヲ禁止シ必要ノ場合ニ於テハ之ヲ差押フルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ内務大臣ハ同一主旨ノ事項ノ掲載ヲ差止ムルコトヲ得

第二十四條 内務大臣ハ外國若ハ本法ヲ施行セサル帝國領土ニ於テ發行シタル新聞紙掲載ノ事項ニシテ安寧秩序ヲ紊シ又ハ風俗ヲ害スルモノト認ムルトキハ其ノ本法施行ノ地域内ニ於ケル發賣及頒布ヲ禁止シ必要ナル場合ニ於テハ之ヲ差押フルコトヲ得

新聞紙ニ對シ一年以内ニ二回以上前項ノ處分ヲ爲シタルトキハ内務大臣ハ其ノ新聞紙ヲ本法施行ノ地域内ニ輸入又ハ移入スルヲ禁止スルコトヲ得

第二十五條 前條第二項ニ依ル禁止ノ命令ニ違反シテ

錄

輸入又ハ移入シタル新聞紙及第四十三條ニ依ル禁止ノ裁判ニ違反シテ發賣又ハ頒布スルノ目的ヲ以テ印刷シタル新聞紙ハ管轄地方官廳ニ於テ之ヲ差押フルコトヲ得

第二十六條 本法ニ依リ差押ヘタル新聞紙ニシテ二年以上其ノ差押ヲ解除セラレサルトキハ差押ヲ執行シタル行政官廳ニ於テ之ヲ處分スルコトヲ得

第二十七條 陸軍大臣、海軍大臣及外務大臣ハ新聞紙ニ對シ命令ヲ以テ軍事若ハ外交ニ關スル事項ノ掲載ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得

第二十八條 第二條ニ該當スル者ニシテ事實ヲ詐リ發行人又ハ編輯人ト爲リタルトキハ三月以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十九條 第三條ニ違反シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十條 第四條乃至第六條ノ届出ヲ爲サス若ハ届出ヲ爲スモ實ヲ以テセス又ハ第四條第一項第一號、第四號乃至第六號ニ關シ届出ノ事項ニ違反シタル行爲ヲ爲シ又ハ第十一條ニ違反シタルトキハ發行人ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十一條 第四條第一項第二號又ハ第三號ニ關シ届

出ノ事項ニ違反シタル行爲ヲ爲シタルトキハ發行人及編輯人ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十二條 第八條第一項ニ違反シタルトキハ發行人死亡シ又ハ第二條ニ該當スルニ至リタル場合ニ於テハ實際發行ヲ爲シタル者、其ノ他ノ場合ニ於テハ發行人ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十三條 第十條ニ違反シ又ハ掲載ニ實ヲ以テセサルトキハ發行人及編輯人ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十四條 第十二條第一項、第二項、第十六條ニ違反シ又ハ第二十二條ニ依ル禁止ノ命令ニ違反シタルトキハ發行人ヲ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十五條 第十七條第一項、第二項、又ハ第十八條ニ違反シタルトキハ編輯人ヲ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十六條 第十九條第二十條ニ違反シタルトキハ編輯人ヲ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十七條 第二十一條ニ違反シタルトキハ編輯人ヲ三月以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

附

録

附

録

第三十八條 第二十三條ニ依ル禁止若ハ差止ノ命令、

第二十四條ニ依ル禁止ノ命令、第四十三條ニ依ル禁止ノ裁判ニ違反シタルトキハ發行人編輯人ヲ六月以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス情ヲ知リテ其ノ新聞紙ヲ發賣又ハ頒布シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十九條 第二十三條第一項、第二十四條第一項、第二十五條ニ依ル差押處分ノ執行ヲ妨害シタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十條 第二十七條ニ依ル禁止又ハ制限ノ命令ニ違反シタルトキハ發行人、編輯人ヲ二年以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十一條 安寧秩序ヲ紊シ又ハ風俗ヲ害スル事項ヲ新聞紙ニ掲載シタルトキハ發行人、編輯人ヲ六月以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十二條 皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆シ政體ヲ變改シ又ハ朝憲ヲ紊亂セムトスルノ事項ヲ新聞紙ニ掲載シタルトキハ發行人、編輯人、印刷人ヲ二年以下ノ禁錮及三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十三條 第四十條乃至第四十二條ニ依リ處罰スル場合ニ於テ裁判所ハ其ノ新聞紙ノ發行ヲ禁止スルコ

トヲ得

第四十四條 本法ニ定メタル犯罪ニハ刑法併合罪ノ規定ヲ適用セス

第四十五條 新聞紙ニ掲載シタル事項ニ付名譽ニ對スル罪ノ公訴ヲ提起シタル場合ニ於テ其ノ私行ニ涉ルモノヲ除クノ外裁判所ニ於テ惡意ニ出テス専ラ公益ノ爲ニスルモノト認ムルトキハ被告人ニ事實ヲ證明スルコトヲ許スコトヲ得若其ノ證明ノ確立ヲ得タルトキハ其ノ行爲ハ之ヲ罰セス公訴ニ關聯スル損害賠償ノ訴ニ對シテハ其ノ義務ヲ免ル

附則
新聞紙條例ハ之ヲ廢止ス

本法施行前ヨリ發行スル新聞紙ニシテ本法ノ規定ニ依リ保證金ニ關額ヲ生スルニ至リタルトキハ本法施行ノ日ヨリ三年間其ノ填補ヲ猶豫ス

第二十六條ノ規定ハ本法施行前ノ差押ニ係ル新聞紙ニ之ヲ準用ス

●保證金ニ充ツヘキ有價證券

(明治四十三年四月内務省令第十五號)

新聞紙法第十二條第三項及豫約出版法第四條第二項ニ依リ管轄地方官廳ニ納ムヘキ保證金ニ充ツルコトヲ得ル有價證券ノ種類左ノ如シ

- 一、國債證券
- 二、勸業債券
- 三、日本興業銀行債券

前項各證券ノ價格ハ國債證券ヲ除クノ外各地地方ニ於ケル前月中ノ平均市場價格ノ十分ノ八ノ額トス但シ取引所ナキ地方ニ在ラハ最近取引所ニ於ケル取引價格ニ依ル

附則

明治四十二年五月內務省令第十五號ハ之ヲ廢止ス

(備考) 明治四十二年(五月)內務省令第十五號ハ新聞紙法ニ依リ管轄地方官廳ニ納ムヘキ保證金ニ充ツルコトヲ得ル有價證券ノ種類規定ノ件ナリ

第三種郵便物認可規則

(明治四十二年十一月改正)

第一條 第三種郵便物ノ認可ヲ受ケムトスル者ハ本規則ノ定ムル所ニ依リ發行地所轄ノ一等郵便局ヘ願出ツヘシ

第二條 第三種郵便物ト爲ヘキ定期刊行物ハ左ノ條件

ヲ具備スルモノニ限ル

- 一 毎月一回以上逐號定期ニ發行スルコト
- 二 記載事項ノ性質終期ヲ豫定スヘカラサルコト
- 三 書籍ノ性質ヲ有セサルコト
- 四 政事、時事、農事、工事、商事、學術、技藝、統計等公共ノ性質ヲ有スル事項ヲ報道論議スルヲ以テ發行ノ目的ト爲シ且汎ク公衆ニ發賣スルコト
- 第三條 本規則ニ依リ認可ヲ受ケムトスル定期刊行物ノ發行人ハ左ノ事項ヲ記載シタル願書ニ見本二部ヲ添ヘ差出スヘシ

一 題號

二 記載事項ノ種類

三 發行人

四 發行所

五 發行人ノ住所

六 發行ノ定日

第四條ノ一 本規則ニ依リ認可ノ効力ハ認可ヲ受ケタル號ヨリ發生スルモノトス
最後發行ノ次ノ定日ヨリ起算シ三十日ヲ過キテ發行セサルトキハ其効力ヲ失フ

第四條ノ二 第三種郵便物ノ認可ヲ受ケタル定期刊行

物ノ發行人ハ其ノ定期刊行物發行ノ際之ヲ差出スヘキ郵便局(郵便物ノ集配事務ヲ取扱フ局ニ限ル)ヲ豫メ發行地所轄ノ一等郵便局ニ届出ツヘシ、之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第五條 第三種郵便物ノ認可ヲ受ケタル定期刊行物ノ發行人ハ其ノ發行毎ニ先發行地所轄ノ一等郵便局及其ノ指定シタル郵便局ニ見本各一部ヲ差出スヘシ

第六條 第三條第一號乃至第三號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ其ノ發行人ヨリ發行地所轄ノ一等郵便局ニ願出テ其ノ許可ヲ受クヘシ此ノ場合ニ於テ發行人ヲ變更セムトスルトキハ新舊發行人連署スヘシ若舊發行人連署スルトキハ其ノ事由ヲ願書ニ證明スヘシ

第七條 第三條及前條第一項及第三項ノ出願人ハ左記

錄

附

第三條第四號乃至第六號ノ事項ヲ變更シタルトキ又ハ廢刊、休刊、發行禁止ノトキハ其ノ發行人ヨリ三日以內ニ發行地所轄ノ一等郵便局ニ届出ツヘシ
前項ノ場合ニ於テ發行所ヲ他ノ一等郵便局ノ所轄區内ニ移轉セムトスルトキハ認可ヲ受ケタル一等郵便局ヲ經由シ移轉先ヲ所轄スル一等郵便局ニ願出テ其許可ヲ受クヘシ

第七條 第三條及前條第一項及第三項ノ出願人ハ左記

ノ割合ニ依リ手数料ヲ納ムヘシ

一 新ニ第三種郵便物ノ認可ヲ受ケムトスルトキ又ハ第三條中二事項以上變更ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ金十圓

二 第三條中其ノ一事項ニ對シ變更ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ金五圓

前項ノ手数料ハ郵便局ノ指示ニ從ヒ郵便切手ヲ以テ納付スヘシ

第八條 第三種郵便物ノ認可ヲ受ケタル定期刊行物及其ノ臨時増刊竝其ノ發行人左記各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ認可ヲ取消スヘシ

- 一 第二條各號ノ條件ヲ缺キタルトキ
- 二 第四條ノ二ノ届出ヲ怠リタルトキ
- 三 第五條見本ノ差出ヲ怠リタルトキ
- 四 第六條ノ手續ヲ怠リタルトキ
- 五 届出ノ事項ト其ノ事實ト相違アルトキ

第九條ノ一 第四條ノ一第二項ニ依リ認可ノ効力ヲ失ヒタルモノ及前條ニ依リ認可ヲ取消サレタルモノ又ハ之ヲ繼承シタルト認メタル定期刊行物ニ對シテハ情狀ニ依リ再ヒ認可ヲ與ヘサルコトアルヘシ

第九條ノ二 第三種郵便物ノ認可ヲ受ケサル刊行物ニ

第三種郵便物ノ認可ヲ受ケタルコトヲ表示スヘキ文字ヲ印刷シタルトキハ發行人ヲ百圓以内ノ罰金ニ處ス

附則

第十條 本規則ハ明治四十年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十三年九月遞信省令第七十三號第三種郵便物認可規則ハ本規則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第十一條 從來ノ規定ニ依リ現ニ第三種郵便物ノ認可ヲ受ケタル定期刊行物ニシテ本規則ニ牴觸セスシテ發行スルモノハ尙其ノ効力ヲ存ス

●約束郵便取扱規則

(明治四十年八月遞信省令第三十六號)

第一條 約束郵便ノ取扱ニ關シテハ本規則ノ定ムル所ニ依ルヘシ

第二條 約束郵便ノ取扱ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申込書ヲ所轄一等郵便局ニ差出シ其ノ承認ヲ受クヘシ

一 題號

二 郵便規則第二十四條ノ一ノ適用ヲ受クルモノト否トノ區別

三 差出回数(定期日アルモノハ定期日ヲモ記載ヲ要ス並毎回ノ簡敷料金ヲ異ニスル毎ニ)ノ概算高

四 差出郵便局所名

五 申込人ノ住所氏名

第三條 本規則ニ依リ約束郵便ノ承認ヲ受ケタル後前條各號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ豫メ其ノ旨ヲ所轄一等郵便局ニ届出ツヘシ

第四條 約束郵便物ハ特殊ノ包裝ヲ要スルモノノ外強質ナル白色ノ日本紙ヲ以テ包裝シ帶紙ヲ用ウルトキハ其ノ幅二寸五分以上トシ宛所ハ成ルヘク明瞭ニ縦書スヘシ

第五條 約束郵便物ハ差出人ニ於テ左記雛形ノ印章ヲ其ノ表面ニ押捺スヘシ

第六條 約束郵便物ハ料金ヲ異ニスルモノ毎ニ區別シ其ノ簡敷ヲ記載シタル郵送簿ニ依リ其ヲ郵便局ニ差



附

出スヘシ但シ郵便局ニ於テ必要アリト認メタルトキハ其ノ差出場所ヲ指定スルコトアルヘシ

第七條 引受郵便局ハ差出人ヲシテ約束郵便物發送上必要ナル區域毎ニ之ヲ結束シテ差出サシムルコトアルヘシ

第八條 約束郵便物ノ差出人ハ先ツ後納郵送料ノ擔保トシテ所轄一等郵便局長ノ指示ニ依リ現金又ハ有價證券ヲ提供シ置クヘシ但シ差出人官廳ナルトキハ此ノ限ニアラス

第九條 約束郵便物郵送料ノ納付方ハ所轄一等郵便局長ノ指示ニ依ルヘシ

第十條 差出人約束郵便取扱ノ請求ヲ取消サムトスルトキハ其ノ旨所轄一等郵便局ニ届出ツヘシ

第十一條 約束郵便物ノ差出人第七條又ハ第九條ノ指示ニ従ハサルトキハ約束郵便ノ承認ヲ取消シ郵便物ノ發送ヲ停止スヘシ

第十二條 郵便規則第二十四條ノ一ノ適用ヲ受クヘキ約束郵便物ニシテ二箇月以上引續キ差出ササルトキハ約束郵便ノ承認ヲ取消スヘシ

第十三條 前二條ニ依リ約束郵便ノ承認ヲ取消タルモノニ對シテハ其ノ情狀ニ依リ再ヒ約束郵便ノ承認ヲ

與ヘサルコトアルヘシ

第十四條 第十條乃至第十二條ニ依リ約束郵便ノ取扱ヲ取消シタルトキハ第八條ニ依ル擔保物件ハ之ヲ差出人ニ還付スヘシ此ノ場合ニ於テ差出人未納ノ料金ヲ納付セサルトキハ擔保金(若有價證券ヲ擔保トシタルモノナルトキハ之ヲ賣却シ其金額ヨリ賣却費用ヲ引去リタル殘額)ヲ以テ不納料金ニ充テ過剩額ハ之ヲ還付シ不足額ハ之ヲ追徴スヘシ

附則

第十五條 本規則ハ明治四十年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十六條 本規則施行前ヨリ郵便官署トノ締約ニ依リ約束郵便ノ取扱ヲ受クルモノハ明治四十年九月三十日迄同締約ニ據ルコトヲ得

●定期刊行物ニ關スル注意

定期刊行物ハ其刊行物初頁上部ニ其ノ名稱、發行期日、回数、逐號番號、發行年月日及何年何月何日第三種郵便物認可ノ文字、次頁以下ハ上部ニ其名稱又ハ略記號、發行年月日及第三種郵便物認可ノ文字ヲ印刷スヘシ但

錄

附

シ冊子トナシタル刊行物ハ最初及最終ノ頁面ノミニ印刷スルコトヲ得

定期刊行物ノ附録ハ本號ノ重量ニ超過セス本紙ト同性質ノ記事廣告又ハ書、畫、圖ヲ印刷シ之ニ本紙ノ名稱、番號並ニ發行ノ年月日及附録ノ文字ヲ記入シ且冊子ト爲ササルモノニ限り之ヲ本紙ニ添付スルコトヲ得

緊急時事ヲ報道スル爲メ臨時ニ刊行スル定期刊行物ノ號外ハ定期刊行物ト同一ノ取扱ヲ爲スモノニシテ之本紙ノ名稱、發行ノ年月日、何年何月何日第三種郵便物認可及號外ノ文字ヲ記入スヘシ

定期刊行物及印刷物ニハ其發行者ニ於テ其ノ記事ニ關スル物品ニシテ其本紙又ハ印刷ノ重量ヲ超ヘサルモノニ限り綴込又ハ貼付スルコトヲ得

郵便物包裝規則

(明治三十四年十二月逓信省令第五十七號)

第一條 定期刊行物、書籍、印刷物、業務用書類、寫眞、書、畫、圖ハ開封トナシ又ハ帶紙若クハ紐等ヲ以テ結束シ商品見本及雛形、博物學上ノ標本、農産物種子ハ開閉自在ナル箱又ハ蓋ニ納ムル等容易ニ内品ヲ點檢

シ得ヘキ樣包裝スヘシ

但蓋種ハ郵便局所ノ承認ヲ經テ之ヲ密閉スルコトヲ得

第二條 小包郵便物ハ強質ノ紙又ハ布ノ類ヲ以テ之ヲ包ミ若クハ箱又ハ籠等ニ入レ適當ニ包裝シ外包ヲ毀損スルニ非サレハ内品ニ毀損ヲ蒙ラシムルコトナキ樣充分ノ包裝ヲ爲スヘシ

第三條 鋒刃其他之ニ類スル物品ハ適當ノ鞘ニ藏メ又ハ其ノ危險ノ部分ヲ覆ヒテ之ヲ箱ニ納メ外覆ヲ毀損セサル樣包裝スヘシ

第四條 流動體若クハ溶解シ易キ物又ハ臭氣ヲ發スヘキ物件ハ之ヲ罐又ハ罎ニ入レ樹脂又ハ錫蠟ノ類ヲ以テ密閉シ更ニ之ヲ適當ノ箱ニ藏ムヘシ但容易ニ溶解セサルモ尚溶解シ又ハ他物ヲ浸潤スヘキ虞アル物件等ハ防水布又ハ澁紙ノ類ヲ以テ適宜ニ包裝スヘシ

第五條 價格表記通常郵便物ハ其内品ノ種類ニ從ヒ適當ニ包裝シ尙ホ之ヲ逓信省發行ノ封皮ニ納ムヘシ但形狀ニ依リ逓信省發行ノ封皮ニ納メ難キモノハ適宜之ヲ包裝シ郵便局所ノ承認ヲ受クヘシ

第六條 價格表記郵便物ハ其封目ニ逓信省發行ノ封緘紙ヲ貼付シ其封緘紙ト包皮トニ掛ケテ鮮明ニ封印ス

錄

附

錄

ヘシ

第七條 價格表記郵便物ニ使用スル包皮及封緘紙ハ郵便局所及郵便切手賣下所ニ於テ之ヲ賣下クルモノトス前項ノ包皮及封緘紙ノ代價ハ別ニ之ヲ告示ス

著作權ニ關スル條約

文學的及美術的著作物保護修正

「ベルヌ」條約

(明治四十三年九月八日公布)

第一條 締盟國ハ文學的及美術的著作物ニ關シ著作權ノ權利ヲ保護セムカ爲同盟ヲ組織ス

第二條 「文學的及美術的著作物」ナル名稱ハ複製ノ方法若ハ形式ノ如何ヲ問ハス書籍、小冊子及其ノ他ノ文書、演劇脚本、樂譜、入演劇脚本、容場カ文書其ノ他ノ方法ヲ以テ定メラレタル舞譜及無言劇。文句入り又ハ文句ナシノ樂譜。圖畫、油畫、建築、彫刻、銅版畫及石版畫ニ關スル著作物。圖解、地圖。地理學、地文學、建築學若ハ科學ニ關スル圖、畫及模型ノ如キ文藝學術若ハ美術ノ範圍ニ屬スル一切ノ製作物ヲ包含ス

著作權ニ關スル條約

翻譯、翻案、變曲其ノ他文學的若ハ美術的著作物ノ變形複製物並異ナリタル著作物ノ編輯物ハ原作物ノ著作權ノ權利ヲ害セサル範圍内ニ於テ原著作物ト同一ニ保護セラルヘキモノトス

締盟國ハ前二項ニ規定セル著作物ノ保護ヲ爲スヘキ義務ヲ有ス

工業ニ應用シタル美術物ハ各國内國法ノ認ムル場合ニ於テ之ヲ保護スヘキモノトス

第三條 本條約ハ寫眞及之ノ類似ノ方法ヲ以テ作リタル著作物ニ適用ス締盟國ハ之ヲ保護スヘキ義務ヲ有ス

第四條 同盟國ノ一ニ屬スル著作權ハ公ニセサル若ハ同盟國ノ一ニ於テ始メテ公ニシタル著作物ニ關シ著作物ノ本國以外ノ國ニ於テ其ノ國法カ内國人ニ現ニ許與シ若ハ將來許與スヘキ權利並特ニ本條約ニ依リ許與セラレタル權利ヲ享有ス

右權利ノ享有及行使ハ何等方式ノ履行ヲ要セス其ノ享有及行使ハ著作物ノ本國ニ於ケル保護ノ存在ニ係ルコトナシ從テ本條約ニ定メタル規定ノ外保護ノ範圍並權利防衛ノ爲著作權ニ擔保セラレタル救濟ノ方法ハ專ラ保護ノ要求セララル國ノ法律ニ依ルヘキモ

附

ノトス
公ニセサル著作物ニ關シテハ著作權ノ屬スル國ヲ以テ著作物ノ本國トシ公ニシタル著作物ニ關シテハ第一發行ノ國ヲ以テ本國トシ數箇ノ同盟國ニ於テ同時ニ公ニシタル著作物ニ關シテハ右諸國ノ中ニ付其ノ國法ノ許與スル保護ノ期間最モ短キ國ヲ以テ其ノ本國トス同盟ニ屬セサル國ト同盟國トニ於テ同時ニ公ニシタル著作物ニ關シテハ同盟國ヲ以テ本國ト看做ス

公ニシタル著作物トハ本條約ノ意義ニ於テハ刊行シタル著作物ヲ云フ演劇脚本若ハ樂譜入演劇脚本ノ興行、音樂的著作物ノ演奏、美術的著作物ノ展覽及建築的著作物ノ建設ハ公ニスルノ意味ニアラサルモノトス

錄

第五條 同盟國ニ屬スル著作權ニシテ他ノ同盟國ニ於テ始メテ其ノ著作物ヲ公ニシタルトキハ其ノ國ニ於テ内國著作權ト同一ノ權利ヲ有ス

第六條 同盟國ニ屬セサル著作權ニシテ同盟國ノ一ニ於テ始メテ其ノ著作物ヲ公ニシタルトキハ其ノ國ニ於テハ内國著作權ト同一ノ權利ヲ享有シ他ノ同盟國ニ於テハ本條約ノ許與スル權利ヲ享有ス

第七條 本條約ニ依リ許與スル保護ノ期間ハ著作權ノ生存間及其ノ死後五十年トス

然レトモ同盟國ノ凡テカ前項ノ期間ヲ採用セサル場合ニ於テハ保護期間ハ保護ノ要求セラレタル國ノ法律ニ依ルヘキモノトス且著作物ノ本國ニ於テ定メタル期間ヲ超過スルコトヲ得ス從テ締結國ハ自國ニ於ケル期間ニ合致スル範圍内ニアラサレハ前項ノ規定ヲ適用スルヲ要セス

寫眞著作物及寫眞ト類似ノ方法ヲ以テ作リタル著作物、遺著、無名若ハ變名著作物ニ關シテハ保護ノ期間ハ保護ノ要求セラレタル國ノ法律ニ依ルヘキモノトス但シ著作物ノ本國ニ於ケル期間ヲ超過スルコトヲ得ス

第八條 公ニセサル著作物ノ著作權ニシテ同盟國ノ一ニ屬スル者及同盟國ノ一ニ於テ始メテ公ニシタル著作物ノ著作權ハ原著作物ニ關スル權利ノ存續期間他ノ同盟國ニ於テ其ノ著作物ヲ翻譯シ若ハ翻譯セシムル特權ヲ享有ス

第九條 同盟國ノ一ニ於ケル新聞紙若ハ定期刊行物中ニ掲ケタル「ローマン、フオイユトン」、「ヌーヴェル」及其ノ他目的ノ如何ヲ問ハス文藝學術若ハ美術ノ一

附

錄

切ノ著作物ハ著作權ノ承諾ヲ得ルニアラサレハ他國ニ於テ轉載スルコトヲ得ス

「ローマン、フオイユトン」、「ヌーヴェル」以外ノ新聞紙ノ記事ハ轉載ヲ禁止スル明示ナキ場合ニ於テハ他ノ新聞紙ニ轉載スルコトヲ得但シ其ノ出所ヲ示スコトヲ要ス此ノ義務ニ對スル制裁ハ保護ノ要求セラレタル國ノ法律ニ依リテ之ヲ定ム

本條約ノ保護ハ時事ノ記事若ハ單ニ新聞ノ報道ニ過キサル雜報ニハ之ヲ適用セス

第十條 教科用ニ供シ又ハ科學的ノ性質ヲ有スル著作物發行ノ爲若ハ節用編輯ノ爲ニ文學的若ハ美術的著作物ヲ適法ニ拔萃スルノ權能ニ關シテハ同盟各國ノ法律及同盟國間ニ現存シ若ハ將來締結スヘキ特別ノ取極ニ準據スヘシ

第十一條 本條約ノ規定ハ公ニシタルモノト否トヲ問ハス演劇脚本若ハ樂譜入演劇脚本ノ興行及音樂的著作物ノ演奏ニ之ヲ適用ス

演劇脚本若ハ樂譜入演劇脚本ノ著作權ハ原著作物ニ關スル其ノ權利ノ存續スル期間内ハ其ノ翻譯ノ許可ナキ興行ニ對シテ保護セララルモノトス

本條ノ保護ヲ享有セムカ爲ニハ著作權ハ著作物發行

ノ際其ノ興行又ハ演奏ヲ禁止スルコトヲ明示スルヲ要セス

第十二條 翻案、變曲及小説若ハ詩歌ト演劇脚本トノ相互ノ變作等ノ如キ文學的若ハ美術的著作物ノ許可ナキ間接ノ剽竊ハ同一ノ形體若ハ其ノ他ノ形體ニ於テ單ニ主要ナラサル變更増補又ハ節約ヲ加ヘタル複製ニ過キスシテ新著作物タル性質ヲ具備セサル場合ニ於テハ本條約ヲ適用スヘキ不法複製中ニ包含セラレヘキモノトス

第十三條 音樂的著作物ノ著作權ハ左ノ事項ヲ許可スルノ特權ヲ有ス

(一) 音樂的著作物ヲ機械的ニ複製スルノ用ニ供スル機器ニ其ノ著作物ヲ寫調スルコト

(二) 前號ノ機器ヲ以テ其ノ著作物ヲ演奏スルコト

本條ノ適用ニ關スル留保及條件ハ各國ノ内國法ノ定ムル所ニ依ル但シ此ノ種ノ留保及條件ハ之ヲ定メタル國ニノミ效力ヲ有ス

第一項ノ規定ハ溯及效ヲ有セス從テ同盟國ニ於テハ其ノ國ニ於テ本條約實施前適法ニ機械的器具ニ寫調シタル著作物ニハ適用セス

本條第二項及第三項ノ規定ニ基ク寫調ニシテ利害關

附

係人ノ許可ナク且之ヲ適法ト認メサル國ニ輸入セラルタル場合ニ於テハ其ノ國ニ於テ之ヲ差押フルコトヲ得

第十四條 文學的學術的若ハ美術的著作家ハ活動寫眞ニ依ル複製及興行ヲ許可スルノ特權ヲ有ス
活動寫眞的製作物ハ著作家カ登場若ハ現出セラレタル事件ノ組合セニ依リ其ノ製作物ニ人的且原始的ノ性質ヲ與ヘタル場合ニ於テハ之ヲ文學的若ハ美術的製作物ト看做ス

文學的學術的若ハ美術的製作物ノ活動寫眞ニ依ル複製ハ原著作物ト同一ニ保護セラレヘキモノトス但シ原作者ノ權利ヲ害スルコトヲ得ス
前三項ノ規定ハ其ノ他活動寫眞術ト類似ノ方法ヲ以テ作リタル複製物若ハ製作物ニ適用ス

第十五條 本條約ニ依リテ保護セラルル著作家ハ反對ノ證據ナキ限り真正ノ著作家ト看做サレ從テ同盟國ノ裁判所ニ於テ僞作者ニ對シテ訴訟ノ提起ヲ許容セラレムカ爲ニハ自己ノ氏名ヲ普通ノ方法ニ依リ其ノ製作物ニ記載スルヲ以テ足レリトス
無名又ハ變名製作物ニ關シテハ其ノ製作物ニ記名シタル發行者ニ於テ著作家ニ屬スル權利ヲ防護スルノ

權能ヲ有ス發行者ハ別ニ證據ヲ要セスシテ無名又ハ變名著作者ノ承繼人ト看做サルヘキモノトス
第十六條 總テ僞作物ハ原著作物カ法律上ノ被保護權ヲ有スル所ノ同盟國ノ當該官廳ニ於テ之ヲ差押フルコトヲ得
前項ノ同盟國ニ於テハ著作物カ保護セラレス若ハ保護ノ止ミタル國ヨリ來ル複製物ヲモ差押フルコトヲ得

右ノ差押ハ各國ノ法律ニ從テ之ヲ行フモノトス
第十七條 本條約ノ規定ハ同盟各國ノ政府カ法律ノ規定若ハ警察處分ニ依リ當該官廳ヲシテ著作物ノ發賣頒布、興行、公示ヲ許可シ監督シ禁止セシムルノ權利ニ何等ノ影響ヲ及ホササルモノトス

第十八條 本條約ハ本條約實施ノ際其ノ本國ニ於テ保護期間ノ滿了ニ依リ未タ公有ニ屬セサル一切ノ著作物ニ適用ス
然レトモ著作物カ保護ノ滿了ニ依リ保護ノ要求セララル國ニ於テ公有ニ屬セル場合ニ於テハ其ノ製作物ハ更ニ保護セララルコトナシ
右原則ノ適用ハ之ニ關シ同盟國間ニ現存シ若ハ將來締結スヘキ特別條約ノ規定ニ從フヘキモノトス但シ

附

之ニ類スル規定存在セサルトキハ各國其ノ關スル所ニ從ヒ右原則ノ適用ニ關スル方法ヲ定ムヘシ
前三項ノ規定ハ新同盟國加入ノ場合及保護期間カ第七條ノ適用ニ依リ擴張セラレタル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第十九條 本條約ノ規定ハ同盟國ノ法律ニ依リ外國人ノ爲ニ定メラルル一層寬大ナル規定ノ適用ヲ妨ケス
第二十條 同盟國政府ハ同盟ニ依リ附與セラレタル權利ヨリ廣大ナル權利ヲ著作家ニ附與スルコトニ付若ハ本條約ニ牴觸セサル限りハ他ノ規定ヲ設ケテ各國相互間ニ特別ノ取極ヲ締結スルノ權ヲ留保ス此ノ條件ニ反セサル現存ノ取極ノ規定ハ仍其ノ效力ヲ有ス

第二十一條 「文學的及美術的製作物保護萬國同盟事務局」ナル名稱ヲ附セル萬國事務局ハ之ヲ維持ス
右事務局ハ瑞西聯邦政府ノ下ニ之ヲ置ク瑞西聯邦政府ハ其ノ組織ヲ定メ且其ノ事務ヲ監督ス
佛蘭西語ヲ以テ萬國事務局ノ公用語トス

第二十二條 萬國事務局ハ文學的及美術的製作物ノ著作權保護ニ關スル各種ノ報告ヲ蒐集編纂シテ之ヲ發行ス萬國事務局ハ同盟共同ノ利益ニ關スル事項ヲ講究ス而シテ又諸政府ヨリ受領シタル書類ヲ参照シテ

同盟ノ目的ニ關スル諸問題ヲ佛蘭西語ニテ記載シタル定期刊行ノ雜誌ヲ編纂ス同盟國政府ハ經驗上必要ト認ムル場合ニ於テハ各國共同ノ合意ヲ以テ萬國事務局ヲシテ他ノ一箇若ハ數箇ノ國語ヲ以テ雜誌ヲ發行セシムル權利ヲ留保ス
萬國事務局ハ常ニ文學的及美術的製作物ノ保護ニ關シ同盟國ノ必要ナリトスル事務ニ付其ノ請求ニ應シテ特殊報告ヲ與フルコトヲ要ス
萬國事務局長ハ其ノ所管事務ニ付毎年報告書ヲ作り之ヲ同盟各國ニ報告ス

第二十三條 萬國事務局ノ經費ハ各締盟國共同シテ之ヲ負擔ス其ノ經費總額ハ更ニ議定スル迄ハ一箇年六萬「フラン」ヲ超過スルコトヲ得ス此ノ年額ハ必要ナル場合ニ於テハ單ニ第二十四條ニ掲ケル萬國會議ノ決議ヲ以テ増加スルヲ得ルモノトス
右ノ經費總額ニ對シ各國釀出割合ヲ定ムル爲ニ締盟國並將來同盟ニ加入スル國ヲ六等ニ區分ス而シテ各等ノ釀出スヘキ單位ノ箇數ノ比例ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 第一等 二十五箇
- 第二等 二十箇

附

第三等 十五箇
 第四等 十箇
 第五等 五箇
 第六等 三箇

右ノ系數ニ各等ノ國數ヲ乘シテ得タル積ノ和ハ箇數ノ總數ヲ示シ之ヲ以テ費用總額ヲ除シテ得タル商ハ一箇當リノ費用額ヲ示スモノトス

各國ハ加入ノ際前記等級中其ノ屬セムト欲スルモノヲ言明スヘシ

瑞西聯邦政府ハ萬國事務局ノ豫算ヲ調製シ其ノ支出ヲ監督シ必要ナル立換ヲ爲シ且毎年出納ヲ計算ス而シテ其ノ出納計算ハ之ヲ他ノ同盟國政府ニ報告スルモノトス

第二十四條 本條約ハ同盟制度ヲ完全ナラシムヘキ改良ヲ加エムカ爲修正ヲ加フルコトヲ得

右ノ如キ問題其ノ他同盟ノ發達ヲ裨益スヘキ問題ハ各同盟國ニ於テ順次開設スヘキ萬國會議ニ於テ各國委員之ヲ審議ス萬國會議ヲ開設スヘキ同盟國ノ政府ハ萬國事務局ノ協力ヲ得テ其ノ準備ヲ爲ス事務局長ハ會議ニ列席シテ討論ニ加入スト雖議決ノ數ニ加ハラス

本條約ノ變更ハ同盟ヲ組成スル各國一致ノ合意ヲ得ルニアラサレハ同盟ニ對シテ其ノ效力ヲ有セス

第二十五條 同盟ニ加入セサル國ニシテ本條約ノ目的トセル權利ノ法律上ノ保護ヲ擔保スルモノハ其ノ請求ニ依リ加名スルコトヲ得

右ノ加盟ハ書面ヲ以テ瑞西聯邦政府ニ申込ムヘシ而シテ該政府ヨリ之ヲ他ノ同盟國ニ報告スヘシ

新ニ加盟スル國ハ當然本條約ニ規定セル一切ノ條款ニ贊同シタルモノトシ本條約ニ規定セル一切ノ利益ヲ享受スヘシ然レトモ千八百八十六年九月九日附條約及千八百九十六年五月四日附追加規定ノ條項ヲシテ少クトモ一時本條約ノ當該規定ニ代ハラシムル必要ヲ認ムル場合ニ於テハ其ノ規定ヲ指示スルコトヲ得

第二十六條 締盟國ハ何時ニテモ其ノ殖民地若ハ在外領地ノ爲本條約ニ加盟スルノ權利ヲ有ス

右ノ加盟ハ全殖民地若ハ在外領地ヲ加盟セシムヘキ一般ノ宣言又ハ特ニ加盟スヘキ部分ノ列舉若ハ單ニ其ノ加盟セサル部分ノ指摘ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ

右ノ宣言ハ書面ヲ以テ瑞西聯邦政府ニ通知スヘシ而

附

シテ該政府ヨリ之ヲ他ノ同盟國ニ報告スヘシ

第二十七條 本條約ハ締盟國相互ノ關係ニ於テハ千八百八十六年九月九日附「ベルヌ」條約(同日附追加條款及終局議定書ヲ包含ス)並千八百九十六年五月四日附追加規定及解釋宣言書ニ代ハルモノトス上記ノ諸條約ハ本條約ヲ批准セサル國トノ關係ニ於テハ仍存續スルモノトス

本條約ノ調印國ハ批准交換ノ際斯ノ點ニ關シテハ仍從前ノ條約ノ規定ニ依ラムコトヲ希望スル旨ヲ宣言スルコトヲ得

第二十八條 本條約ハ之ヲ批准シ其ノ批准ハ遅クトモ千九百十年七月一日迄ニ伯林ニ於テ交換スヘシ

各締盟國ヨリ批准交換ノ爲批准書各一通ヲ差出シ他ノ締盟國ヨリ提出シタルモノト共ニ瑞西聯邦政府ノ記錄中ニ之ヲ保管スルモノトス各締盟國ハ其ノ代ハリトシテ之ニ關與セシ各全權委員ノ記名シタル批准交換書一通ツツヲ受領スヘシ

第二十九條 本條約ハ批准交換後三箇月ヲ經テ實施セラレヘシ而シテ其ノ有效期間ヲ定メス同盟ヲ脫スルノ通知ヲ爲シタル後一箇年ヲ經過スル迄有效ナルヘキモノトス

右ノ脱盟ハ瑞西聯邦政府ニ通知スヘシ右脱盟ハ其ノ之ヲ爲シタル國ニ對シテノミ有效ナルモノニシテ他ノ同盟國間ニ於テハ依然本條約ヲ繼續スルモノトス

第三十條 本條約第七條第一項ニ定ムル五十箇年ノ保護期間ヲ其ノ國法ニ採用スル國ハ之ヲ瑞西聯邦政府ニ書面ヲ以テ通知スヘシ而シテ該政府ハ直ニ之ヲ他ノ同盟國ニ報告スヘシ

第二十五條第二十六條及第二十七條ニ依リ爲シタル留保ヲ拋棄スル國ニ對シテモ亦前項ニ同シ

右證據トシテ各全權委員ハ本條約ニ記名調印スルモノナリ

千九百八年十一月十三日伯林ニ於テ本書一通ヲ作り之ヲ瑞西聯邦政府ノ記錄ニ保管シ其ノ認證本ハ外交上ノ手續ニ依リ締盟國ニ交付ス

獨逸 國 博士カー、フオン、スツット
 フオン、コエルネル
 ドウングス
 ゲーベル、フオン、ハラント
 ロホルスキー
 ヨセフ、コーレル
 オステリート

白耳義國

伯爵テラ、フアイー、ド、ルウエルゲム
ジニール、ド、ボルヒクラーウ
ヴオーヴェルマン

丁抹國

シー、ヘーゲルマン、リテンクローネ
ルユイ、ボロ、ド、ベルナベ
ウーツユニオ、フエラツ

佛蘭西國

シニール、カムボン
エー、ラウイツス
ホーレ、ヘルヴィツ
エル、ルノール
ガウアリ
セー、ブルトン
ジオルジエ、ルコント

大不列顛國

エイチ、シー、ベルギエ
サオーガ、アール、アスクウイス
ツニード、サリス
ベンサ

伊太利國

リユイギ、ルー
サミュエル、オットレンギ
エミリオ、ウホチアン
アヴ、オーギユスト、フエラリ

日本國

水野銀太郎
堀口九萬一
「リベリヤ」國
フオン、コニルネル
伯爵ド、ウイラース

「モナコ」國

男爵ド、ローラン
クラウス、ホエル
タウベ

瑞典國

ペー、エム、アフ、ユクラス
アルフレド、フオン、クラバレード
グーブルウエー、クラフト

突尼斯國

ジャン、グー

文學的及美術的著作物保護同盟

千九百八年十一月十三日伯林修正ベルヌ條約
批准書保管處

千九百八年十一月十三日伯林ニ於テ調印セラレタル文學的及美術的著作物保護修正「ベルヌ」條約第二十八條ノ規定ニ準據シ且其ノ爲獨逸帝國政府ヨリ各締盟國政府ニ致シタル招聘ニ依リ下ニ署名スル委員ハ批准書ヲ檢閲シ其ノ保管手續ヲナス爲今日會同セリ（委員氏名省略）

此ノ同盟ヲ組成スル各國ノ委員ハ批准書交換ニ當リ左ノ宣言ヲナシタリ

一、獨逸國、白耳義、「ハイチ」國、「リベリヤ」國、盧森堡國、「モナコ」國及佛蘭西國ハ千九百八年十一月十三日修

附

錄

附

錄

正「ベルヌ」條約全部ヲ批准シタリ

二、日本國ハ前記條約第二十七條ニ依リ左記留保ヲナシテ之ヲ批准シタリ

(一) 著作物ヲ翻譯シ若ハ翻譯セシムル著作家ノ特權ニ關シテハ日本帝國政府ハ前記條約第八條ニ準據セシテ從前ノ通千八百九十六年五月四日巴里調印ノ追加規定第一條第三ヲ以テ改正セラレタル千八百八十六年九月九日ノベルヌ條約第五條ノ規定ニ準據スヘキコト

(二) 音樂的著作物ノ演奏ニ關シテハ日本帝國政府ハ千九百八年十一月十三日ノ前記修正條約第十一條ニ準據セシテ從前ノ通千八百八十六年九月九日ノベルヌ條約第九條第三項ノ規定ニ準據スヘキコト

三、左記各國ハ未タ批准書寄託ノ運ニ至ラス

丁抹國、西班牙國、佛蘭西國、大不列顛國、伊太利國、諾威國、瑞典國及突尼斯國

次ニ獨逸國皇帝普魯西國皇帝陛下、白耳義國皇帝陛下、「ハイチ」共和國大統領、日本國皇帝陛下、「リベリヤ」共和國大統領、盧森堡國大公殿下、「モナコ」國公殿下、佛蘭西聯邦政府ノ批准書提出セラレ何レモ良好妥當ナリト

著作權ニ關スル條約

認メラレタルヲ以テ千九百八年十一月十三日修正「ベルヌ」條約第二十八條第二項ニ基キ佛蘭西聯邦政府ノ記錄中ニ保管ノ爲同國外務大臣ニ交付セラレタリ

來七月一日マデニ前記修正條約ヲ批准セムトスル締盟國ハ同日マテハ批准書ヲ獨逸帝國外務省ニ交付スルコトヲ得ヘシ此ノ批准書ヲ同省ニ交付スル爲ニシテ同時ニ若シ必要アル場合ニ於テ第二十七條第二項ニ規定シタル留保ヲ記載スル文書ハ此ノ覺書ノ一部ヲ爲スモノト認メ批准書保管管各箇ニ附隨セシメ關係國委員各別ニ之ニ調印シ前記外務省ハ之ヲ各調印國委員ニ交付スヘシ千九百八年十一月十三日修正ノ條約ヲ千九百十年七月一日マテニ批准スル國ハ等シク本條約ヲ千九百十年九月九日ヨリ有效ナラシムル權能ヲ享有スルモノトス

千九百十年七月一日以後ニ於ケル本條約批准ハ佛蘭西聯邦政府ヘ通知シ同政府ハ之ヲ他ノ締盟國ニ通知スヘシ七月一日以後批准スル國ノ政府モ亦修正條約ヲ有效ナラシムル爲本條約第二十九條ニ規定シタル三箇月ノ期間ニ準據セシテ千九百十年九月九日ヨリ之ヲ有效トスルコトヲ得ヘキモノトス

右證據トシテ各列席委員ハ宣言及保管ニ關スル本覺書

ニ記名調印スルモノナリ
千九百十年六月九日柏林ニ於テ千九百八年十一月十
三日ノ條約第二十八條第二項ニ基キ本書十六通ヲ作
ルモノナリ

獨逸國 シェーン

フオン、コエルネル

ドカンクス

博士デーベル、フオン、ハラン

ロホルスキ

グレンドル

ノルガアルド

エル、ボロ、ド、ベルナベ

シユール、カムボン

ダブリユ、イー、ゴツシエン

フーシヤール

パンサ

珍田裕巳

フオン、コエルネル

伯爵ド、ウイラス

「リベリヤ」國

「モナコ」國

「ベルニ、ヌウリクール

「ド、ツツテン

「ト、ロール

「アルフレッド、クラハレド

「ジニール、カムボン

千九百八年十一月十三日柏林ニ於テ調印セ
ラレタル文學的及美術的著作物保護修正
「ベルヌ」條約批准ニ關スル書東

以書東啓上致候陳者千九百八年十一月十三日柏林ニ於
テ調印セラレタル修正「ベルヌ」條約批准書保管書第
四頁第二項ニ遵ヒ本使ハ茲ニ佛蘭西及突尼斯ノ前記條
約批准書ヲ閣下ニ致スノ光榮ヲ有シ候
此ノ二國政府ハ前記條約第二十七條ニ據リ左記留保ノ
下ニ此ノ條約ヲ批准致候

工業ニ應用シタル美術物ニ關シテハ佛蘭西及突尼斯
ノ兩政府ハ文學的及美術的著作物保護同盟條約ノ
規定ニ準據ス

本條約ハ右二國ノ爲千九百十年九月九日ヨリ效力ヲ生
シ申可候

本使ハ茲ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候敬具

伯林千九百十年六月三十日

佛蘭西大使館

テオドール、ベルクハイム

外務大臣男爵ド、シーエー閣下

(備考) 千八百八十六年九月九日ベルヌ條約第五條及第九條ノ條
左ノ如シ

附

録

突尼斯國

瑞西國

瑞威國

「モナコ」國

「リベリヤ」國

日本國

伊太利國

大不列顛國

佛蘭西國

西班牙國

白耳義國

丁抹國

獨逸國

シエン

フオン、コエルネル

ドカンクス

博士デーベル、フオン、ハラン

ロホルスキ

グレンドル

ノルガアルド

エル、ボロ、ド、ベルナベ

シユール、カムボン

ダブリユ、イー、ゴツシエン

フーシヤール

パンサ

珍田裕巳

フオン、コエルネル

伯爵ド、ウイラス

「リベリヤ」國

「モナコ」國

「ベルニ、ヌウリクール

「ド、ツツテン

「ト、ロール

「アルフレッド、クラハレド

「ジニール、カムボン

附

録

第五條 同盟國ノ一ニ屬スル著作者及其ノ承繼人ハ同盟國ノ一ニ於テ
原著物ヲ公ニシタル時ヨリ十ヶ年間他國ニ於テ其ノ著作物ヲ翻譯
シ又ハ其ノ翻譯ヲ許スル特權ヲ享有ス
一部分ツ、漸次ニ公ニシタル著作物ニ關シテハ十ヶ年ノ期間ハ原著
作ノ最終部分ヲ公ニシタル日ヨリ起算ス
數度ニ公ニシタル數卷ヨリ成ル著作物並ニ文學又ハ學術ノ協會若ハ一
私人ノ公ニシタル報告書類又ハ小冊子ニ關シテハ十ヶ年ノ期間計算上
各卷各冊子ヲ各自特別ノ著作物ト看做ス

本條ニ規定セル各場合ニ於テ保護ノ期間ヲ計算スルニハ著作物ヲ公
ニシタル年ノ十二月三十一日ヲ以テ其ノ發行ノ日ト看做ス
第九條 第二條ノ規定ハ公ニセルト否トヲ問ハズ演劇脚本又ハ樂入演
劇脚本ノ興行ニ之ヲ適用ス
演劇脚本又ハ樂入演劇脚本ノ著作者若ハ其ノ承繼人ハ其ノ翻譯特權
ノ繼續スル期間内其ノ翻譯物ノ許諾ヲキ興行ニ對シテモ同一ニ保護
セラルルモノトス

第二條ノ規定ハ未タ公ニセサル樂譜又ハ其ノ表紙若ハ冒頭ニ於テ其
ノ演奏ヲ禁止スル旨ヲ明示シテ公ニシタル樂譜ノ演奏ニモ亦之ヲ適
用ス

◎日米間著作權保護條約

日本國皇帝陛下及亞米利加合衆國大統領ハ互ニ兩國ニ
於テ著作權ニ關シ法律上ノ保護ノ便益ヲ各其ノ臣民及
人民ニ擴張セムト欲シ之カ爲協約ヲ締結スルコトニ決

著作權ニ關スル條約

シ日本國皇帝陛下ハ其ノ外務大臣陸軍大將從二位勳一
等功三級伯爵桂太郎ヲ亞米利加合衆國大統領ハ其ノ日
本國駐劄特命全權公使ロイドシ、グリスコムヲ各其ノ
全權委員ニ任命セリ因テ各全權委員ハ互ニ其ノ委任狀
ヲ示シ其ノ良好妥當ナルヲ認メ協定スルコト左ノ如シ

第一條

兩締約國ノ一方ノ臣民又ハ人民ハ文學及美術ノ著作物
並ニ寫眞ニ付他ノ一方ノ版圖内ニ於テ其ノ國ノ臣民又ハ
人民ニ許與セラル、保護ト同様ノ基礎ニ於テ不正ノ複
製ニ對シ著作權ノ保護ヲ享有スベシ但本協約第二條ノ
規定ニ遵由スヘシ

第二條

兩締約國ノ一方ノ臣民又ハ人民ハ他ノ一方ノ臣民又ハ
人民カ其ノ版圖内ニ於テ公ニシタル書籍、小冊子其ノ
他各種ノ文書演劇脚本及樂譜ノ認許ヲ俟タスシテ翻譯
シ且其ノ翻譯ヲ印刷シテ公ニスルコトヲ得ヘシ

第三條

本協約ハ之ヲ批准シ其ノ批准ハ成ルヘク速ニ東京ニ於
テ交換シ批准交換ノ日ヨリ之ヲ實施シ其ノ實施後ニ公
ニセラル、著作物ニ限リ適用スヘシ兩締約國ノ一方ハ
何時タリトモ本協約ヲ終了セムト欲スル旨ヲ他ノ一方

ニ通知スルノ權利ヲ有シ其ノ通知ヲ爲シタル後三個月ヲ經過シタルトキハ本協約ハ全然消滅ニ歸スヘシ右證據トシテ上記ノ各全權委員ハ本協約ニ記名調印スルモノナリ

明治三十八年十一月十日即西曆千九百五年十月十日東京ニ於テ日本文及英文ニテ認メタル本書各二通ヲ作ル

桂 太 郎 印

ロイドシーグリスコム印

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐ミタル日本國皇帝(御名)此書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

朕帝國ト亞米利加合衆國トノ間ニ日米間著作權保護ニ關シ明治三十八年十一月十日東京ニ於テ兩國全權委員ノ記名調印シタル條約ノ各條目ヲ親シク閱覽點檢シタルニ善ク朕ノ意ニ適シ間然スル所ナキヲ以テ右條約ヲ嘉納批准ス

神武天皇即位紀元二千五百六十六年明治三十九年四月二十八日東京宮城ニ於テ親ヲ名ヲ署シ璽ヲ鈴セシム

御名 御璽

外務大臣 侯爵西園寺公望印

尙右條約調印ノ際該條約第三條ノ解釋ニ關シ兩國全

權委員ノ間ニ交換シタル書翰左ノ如シ

以書翰致啓上侯陳者本日帝國ト亞米利加合衆國トノ間ニ調印セシ著作權保護協約ノ第三條ニ關シ將來ノ誤解ヲ防ク爲メ本大臣ハ該條中ニ用キラレタル「公ニセラ」ナル文字ヲ帝國政府ニ於テハ「始メテ公ニセラ」ノ義ト解釋スルコト隨テ本協約ハ批准交換前兩締約國ノ一方ニ於テ公ニセラレタル著作物ヲ將來他ノ一方ニ於テ複製スルコトニハ適用ナキモノナルコトヲ言明致候帝國政府ハ貴國政府カ上記ノ解釋ニ同意スル旨ノ確答ヲ得ハ幸甚ノ至ニ御座候本大臣ハ茲ニ重テ閣下ニ向ヒ敬意ヲ表シ候敬具

明治三十八年十一月十日

外務大臣 伯爵桂太郎印

亞米利加合衆國特命全權公使

ロイドシーグリスコム閣下

(譯文)

以書翰致啓上侯陳者本日亞米利加合衆國ト日本國トノ間ニ調印シタル著作權保護協約ノ第三條中ニ用キラレタル「公ニセラ」ナル文字ノ意義ニ關シ本日附貴翰ヲ以テ御申越ノ趣致領承候本使ハ茲ニ亞米利加政府ニ於テモ「公ニセラ」ナル上記ノ文字ニ付大日本帝國

政府ノ與ヘランタル解釋ニ全然同意スルモノナルコト及本協約ハ批准交換前兩締約國ノ一方ニ於テ公ニセラレタル著作權物ヲ將來他ノ一方ニ於テ複製スルコトニハ適用ナキモノナルコト及確答候右回答旁本使ハ茲ニ重テ閣下ニ向ヒ敬意ヲ表シ候敬具

千九百五年十一月十日東京ニ於テ

亞米利加合衆國特命全權公使

ロイドシーグリスコム手記

外務大臣伯爵桂太郎閣下

●清國ニ於ケル著作權其他ノ日米條約

日本國皇帝陛下及亞米利加合衆國大統領ハ清國ニ於テ其ノ臣民又ハ人民ノ發明、意匠、商標及著作權ノ相互保護ヲ確保セムコトヲ欲シ之カ爲條約ヲ締結スルコトニ決シ日本國皇帝陛下ハ亞米利加合衆國駐劄特命全權大使正三位勳一等男爵高平小五郎ヲ亞米利加合衆國大統領ハ其ノ國務大臣代理ロバート、ペーコンヲ各其ノ全權委員ニ任命セリ因テ各全權委員ハ互ニ其ノ委任狀ヲ示シ其ノ良好妥當ナルヲ認メ左ノ諸條ヲ協議決定セリ

第一條

締約國ノ一方ノ臣民又ハ人民カ他ノ一方ノ當該官衙ニ於テ特許ヲ受ケタル發明又ハ登錄ヲ受ケタル意匠若ハ商標ハ清國各地ニ於テ右他ノ一方ノ臣民又ハ人民ノ侵害ニ對シ右他ノ一方ノ版圖内ニ於ケルト同一ノ保護ヲ享受スヘシ

第二條

締約國ノ一方ノ臣民又ハ人民ハ文學及美術ノ著作物並寫真ノ著作權ニ付清國內ニ於テ他ノ一方ノ版圖内ニ於ケルト同一程度ノ保護ヲ享受スヘシ

第三條

締約國ノ一方ノ臣民又ハ人民カ本條約ニ依リ保護ヲ受クヘキ特許發明、登錄意匠、登錄商標又ハ著作權ヲ侵害シタルトキハ被害者ハ加害者所屬國ノ當該裁判所又ハ領事館ニ於テ其ノ國ノ臣民又ハ人民ト同一ノ權利及保護ヲ享受スヘシ

第四條

兩締約國ハ商號ノ保護ニ付千八百八十三年三月二十日巴里ニ於テ調印セラレタル萬國工業所有權保護同盟條約ニ依リ其ノ版圖内ニ於テ對手國ノ臣民又ハ人民カ受クルト同一ノ取扱ヲ清國內ニ於テ對手國ノ臣民又ハ

附

入民ニ付與スヘキコトヲ約ス
 行名ハ本條約ノ適用上之ヲ商號ト看做スヘシ
 第五條
 本條約ノ適用上韓國臣民ハ日本國臣民ト、亞米利加合衆國ノ所屬地ノ人民ハ米國人民ト清國內ニ於テ同一ノ取扱ヲ受クヘキモノトス
 第六條
 兩締約國ハ其ノ治外法權ヲ行使スルコトヲ得ル他國ニ關シ成ルヘク本條約ノ規定ヲ準用スヘキコトヲ約ス
 本條約ヨリ生ズル一切ノ權利ハ兩締約國ノ所屬地及租借地ニ於テモ尊重セラルヘク右權利ノ侵害ニ對スル法律上ノ救濟ハ加害者所屬國ノ當該裁判所ニ於テ之ヲ與フルモノトス
 第七條
 本條約實施ノ際本條約ノ保護スル他人ノ商標又ハ之ニ類似スルモノヲ不正ニ附シタル商品ヲ有スル者ハ右實施後六月ヲ限リ其ノ商標ヲ除去シ若ハ抹消スルカ又ハ該商品ヲ清國市場ヨリ撤去スルコトヲ要ス
 第八條
 締約國ノ一方ノ臣民又ハ人民カ明治三十九年五月十日以後公ニシタル文學及美術ノ著作物並寫眞ニシテ本條

錄

約ニ依リ保護ヲ受クヘキモノヲ本條約實施前清國內ニ於テ許可ナクシテ複製シタル他ノ一方ノ臣民又ハ人民ハ右實施後一年ヲ限リ該複製物ノ發賣又ハ頒布ヲ廢止スヘキモノトス
 第九條
 本條約ハ之ヲ批准シ其ノ批准書ハ成ルヘク速ニ東京ニ於テ交換セラルヘシ
 本條約ハ批准書交換ノ日ヨリ十日ヲ經タル後韓國ニ於ケル發明、意匠、商標及著作權ノ保護ニ關スル條約ト共ニ實施セラルヘシ
 右證據トシテ各全權委員ハ之ニ記名調印スルモノナリ
 明治四十一年五月十九日即西曆千九百八年五月十九日
 華盛頓ニ於テ本書ニ通ヲ作ル
 高平 小五郎 印
 ロバート、ベリコン 印

著作權及出版ニ關スル願屆書式

(一) 著作權ニ關スル書式

(第一書式)

(甲) 著作權登錄願

一 著作物ノ題號

此登錄税金何圓也

冊(箇)數

收入
印紙

右著作權登錄相成度此段相願候也

住所及原籍

年月日

著作權者(又ハ發行者) 氏 名 印

內務大臣宛

(乙) 著作權讓渡(質入)登錄願

一 著作物ノ題號

此登錄税金何圓也

冊(箇)數

收入
印紙

右著作物ハ今般誰ヨリ誰ニ讓渡(質入)候間登錄相成度雙方連署ヲ以テ此段相願候也

住所及原籍

年月日

讓渡(質入)人 氏 名 印

住所及原籍

讓受(質受)人 氏 名 印

內務大臣宛

(第二書式)

實名登錄願

一 著作物ノ題號

此登錄税金何圓也

冊(箇)數

收入
印紙

右著作物ハ彙ニ何(稱號)處作トシテ(無名ニテ)發行者誰(氏名)ノ名義ヲ以テ發行候處今般左記ノ通實名ノ登錄相受度發行者連署ヲ以テ此段相願候也

住所及原籍

年月日

著作權者 氏 名 印

住所及原籍

發行者 氏 名 印

內務大臣宛

(二) 出版ニ關スル書式

(第一書式)

出版願

著作權者ノ氏名、稱號著(編輯、演說、講義、翻譯)

一文書圖書ノ題號

右出版法ニ依リ年月日ヨリ發行候間製本二部相添此段御届申上候也

全何冊(枚)

錄

附

年月日

原籍及住所
 發行者 商號 氏名 印
 原籍及住所 年 名 印
 著作者(相續者)氏 名 印

(第三書式)
 學術(技藝、統計、廣告)雜誌出版届
 一雜誌ノ題號 第何號
 右ハ專ラ學術(技藝、統計、廣告)ニ關スル事項ヲ記載
 シ出版法ニ依リ年月日發行候間製本二部相添此段御
 届申上候也
 年月日

(第二書式)

再版届
 著作者ノ氏名、稱號著(編輯、演說、講義、翻譯)
 一文書圖書ノ題號 全何冊(枚)
 一初版發行ノ年月日
 右出版法ニ依リ年月日ヨリ發行候間製本二部相添此
 段御届申上候也
 年月日

(第四書式)

學術(技藝、統計、廣告)雜誌出版手續省略願
 一雜誌ノ題號 第何號ヨリ
 右ハ專ラ學術(技藝、統計、廣告)ニ關スル事項ヲ記載
 シ出版法ニ依リ出版候間出版ノ都度届出ノ手續ヲ省
 略シテ製本二部ノミ相納候様致度此段相願候也
 年月日

原籍及住所
 發行者 商號 氏名 印
 原籍及住所 年 名 印
 著作者(相續者)氏 名 印

原籍及住所
 編輯者 氏名 印
 原籍及住所 氏名 印
 發行者 商號 氏名 印
 原籍及住所 年 名 印

附

録

東京書籍商組合員

(明治四十四年二月現在)

麴町區

麴町區永田町二丁目七
 同 飯田町三丁目一〇
 同 飯田町五丁目八
 同 飯田町五丁目二二
 同 飯田町六丁目二
 同 麴町一丁目四
 同 麴町四丁目一三
 同 麴町五丁目三
 同 華町四
 同 華町三六
 同 元岡町一丁目四〇
 同 平河町四丁目一
 同 富士見町一丁目三三
 同 富士見町六丁目一〇
 同 一番町三四
 同 上六番町四〇

保成堂 吉川庄一郎
 開發社 辻三半七
 國學院大學 三里半七
 出版部 水谷弓彦
 精華書院 中野義房
 數書閣 大野作逸
 樂山堂書房 磯部太郎兵衛
 磯部屋 磯部太郎兵衛
 文光堂 森田鐵太郎
 川流堂 小林又七
 武林堂 宮本林治
 武林堂 虎谷喜太郎
 虎谷誠々堂 柴田源左衛門
 兵林館 鈴木敬親
 明法堂 鈴木敬親
 文昌閣 直井潔
 開新堂 加藤鎮吉
 日成堂 宮澤丑五郎

神田區

神田區鍛冶町四
 同 鍛冶町五
 同 鍛冶町六
 同 鍛冶町八
 同 鍛冶町二二
 同 鍋町二一
 同 鍋町二六
 同 小柳町一三
 同 佐久間町一丁目一
 同 平河町二
 同 仲町二丁目六
 同 旅籠町一丁目二三
 同 五軒町二〇
 同 通新石町三
 同 須田町二三
 同 須田町二四
 同 南藥物町九一〇
 同 南藥物町一二
 同 南藥物町一五

誠之堂 伊藤岩次郎
 清水屋 長谷川常次郎
 駿河屋 久保田松吉
 東亞堂 伊東芳次郎
 朝香屋 大柴四郎
 大學館 岩崎鐵次郎
 欽明堂 戸田爲治郎
 (左東明書房) 關宇三郎
 西東書房 七條愷
 文寶堂 和田庄藏
 辰文館 中島卯三郎
 (野口文光堂) 野口安治
 出版協會 宮本勘次郎
 東陽堂 吾妻健三郎
 十文字商會 十文字信介
 尙古堂 辻本柳
 明治圖書株式會社
 東洋社 石川正作
 青雲堂 葛西虎次郎

附

録

東京書籍商組合員

神田區東松町二四	永樂堂	永島爲次郎	神田區表神保町一	小林書店	小林新造
同 橋本町二丁目五	(朝野) 文書堂	朝野文三郎	同 表神保町二	芳賀屋	芳賀大三郎
同 田代町六	東亞教育齋館	太田節次	同 表神保町二	中西屋	山田九郎
同 一ツ橋通町七	有斐閣	江草重忠	同 表神保町二	(福成) 成書社	福岡新三
同 今川小路二丁目一	芳流堂	合資 岡崎屋書店	同 表神保町二	京華堂	平塚長三郎
同 今川小路一丁目五	修文館	鈴木常次郎	同 表神保町二	同 文館	森山章之丞
同 今川小路二丁目一	博愛館	伊藤政三	同 表神保町三	(東京) 文書堂	大橋省吾
同 今川小路二丁目四	清水書店	葉多野太兵衛	同 表神保町五	三省堂	小泉德兵衛
同 今川小路二丁目六	三育舎	井原秀雄	同 表神保町一	上田屋	長井庄吉
同 今川小路二丁目一五	深谷書店	深谷善三郎	同 表神保町一	文海堂	酒井勉
同 今川小路三丁目六	明倫館	山口秀明	同 表神保町二	(東京) 文書館	山岸見喜壽郎
同 南神保町二	富美乃屋	石井與輔	同 表神保町二	大屋書店	額頰房太郎
同 南神保町七	奎運堂	内藤彦太郎	同 表神保町二	西元堂	丸山常藏
同 南神保町一	壽泉堂	白井佐太郎	同 表神保町五	高岡書店	高岡安太郎
同 南神保町二	春清堂	門部富吉	同 表神保町六	光風館	上原才一郎
同 南神保町一五	鳴宮書店	塚本巳之助	同 表神保町九	勉強堂	村口半次郎
同 南神保町一七	鳴宮書店	鳴宮米次郎	同 表神保町九	國語傳習所	合資 富山房
同 北神保町三	山海堂支店	米山周次	同 表神保町九	開國社	杉浦鋼太郎
同 表神保町一	地球堂	岡本清	同 小川町一	同 國語傳習所	竹中貞次郎
同 表神保町一	國民教育社	多田房之輔			

神田區小川町一	文會堂	立田義元	神田區駿河臺表町一	益友社	五本直次郎
同 小川町三	大野書店	大野富士松	同 駿河臺表町一	光融館	平本正次
同 小川町四一	文錦堂	井上藤吉	同 駿河臺表町一六	東京國民書院	河野正義
同 小川町四一	敬文館	樫村喜久太郎	同 錦町一丁目九	二松堂	宮下松太郎
同 小川町四六	寶永館	高橋儀市	同 錦町一丁目一〇	文運堂	合資 博進社
同 猿樂町二	弘道館	辻本卯藏	同 錦町一丁目一〇	明治書院	三樹一平
同 猿樂町二	建文館	宮邊富次郎	同 錦町一丁目一〇	魁真樓	井口松之助
同 猿樂町二三	山海堂	來島正時	同 錦町一丁目一三	文學同志會	大月隆
同 猿樂町二三	開文館	森本謙藏	同 錦町一丁目一六	有朋堂	三浦理
同 猿樂町二四	修學堂	辻本末吉	同 錦町一丁目一六	勉強堂書店	岸野英一
同 猿樂町二五	文進堂	鈴木貞吉	同 錦町二丁目三	益文堂	島村兵助
同 仲猿樂町一	巖松堂	波多野重太郎	同 錦町二丁目五	松榮堂	大草常章
同 美土代町二丁目一	(東京) 文書館 器具店	安井清	同 錦町二丁目五	五車樓	藤井孫六
同 美土代町二丁目一	同 文書館 器具店	安井清	同 錦町三丁目三	嵩山房	小林新兵衛
同 美土代町二丁目一	文學社	小林義則	同 錦町三丁目三	渡邊書店	渡邊五一郎
同 美土代町二丁目一	青山堂	青山清吉	同 錦町三丁目六	生文館	生沼大造
同 美土代町三丁目一	文陽堂	富田能次	同 錦町三丁目七	好文堂	小池保吉
同 美土代町三丁目一	明文堂	周防初次郎	同 錦町三丁目八	八尾書店	八尾新助
同 美土代町四丁目五	高岡書店	高岡寅次郎	同 錦町三丁目一	文星閣書店	練木多嘉
同 三河町一丁目一五	博報堂	瀨木博尚	同 神田區淡路町一丁目一	統文館	眞田爲治

同	淡路町二丁目七	昌平堂	川岡東一	日本橋區本町三丁目一四	至誠堂	加島虎吉
同	雄子町三三	玄黃社	鶴田久作	同	寶文館	大葉久吉
同	雄子町三四	成章堂	綾部喜久二	同	賞文館	井上太兵衛
同	鎌倉町一〇	勸業書院	本田賢司	同	博文館	芳野兵作
同	皆川町二	田村書店	田村茂太郎	同	杉山常次郎	
同	旭町二六	富文館	片山與三吉	同	金港堂書籍株式會社	
同	佐柄木町二	三教書院	鈴木種次郎	同	大津洋紙店	大津茂助
同	多町一丁目一五	文友館	長谷川好太郎	同	嵩山堂	青木恒三郎
同	上白壁町九	學海指針社	前川一	同	大倉保五郎	
同	昌平河岸四號地	信友堂	森友吉	同	松聲堂	中島石松
同	柳原川岸一七	日進堂	鶴岡五郎	同	武揚堂	小島棟吉
同	南神保町一四	明誠館	松崎善太郎	同	成美堂	河出靜一郎
日本橋區						
同	日本橋區本町一丁目一六	大塚洋書堂	大塚周吉	同	春陽堂	和田靜子
同	本町二丁目九	鍾美堂	福岡元治郎	同	天章閣	青野友三郎
同	本町三丁目二	秀文館	大慈辰二	同	廣集堂	江島伊兵衛
同	本町四丁目一八	杉本香房	杉本七百九	同	株式會社 國定教科書共同販賣所	日本書籍株式會社
同	本町二丁目二			同		

同	日本橋區河濱町四	三新堂	三井新次郎	日本橋區堀切町一丁目三	都屋	樋川晴造
同	數寄屋町一	三友書院	田山宗堯	同	自省堂	中島萬吉
同	數寄屋町六	集文館	木田吉太郎	同	磯部甲陽堂	磯部辰次郎
同	數寄屋町九	丸文合館	林平次郎	同	光世館	谷澤光吉
同	箱屋町一四	丸光合館	竹澤平次郎	同	自成堂	內田梅造
同	箱屋町二六	弘學館	江藤邦松	同	興文社	鹿島長次郎
同	榎正町一	千代田書房	寺本安之助	同	近江屋	澤久次郎
同	上橫町一〇	如山堂	今津隆治	同	島屋	網島龜吉
同	下橫町一二	文星堂	直江外次郎	同	今古堂	瀧川民治郎
同	下橫町一六	東京印刷株式會社		同	久保田書店	久保田長吉
同	兜町二	魚住書店	魚住嘉三郎	同	淡海堂	酒井久三郎
同	大傳馬場町一七	文盛堂	榎原友吉	同	大黒屋	荒川龜次郎
同	鐵砲町三	老鶴圃	內田淺吉	同	春江堂	湯淺久米策
同	鐵砲町三	文鶴圃	淺見文吉	同	銀華堂	野村銀次郎
同	大傳馬場町二丁目一六	藤野書店	水野慶次郎	同	建築書院	吉原米次郎
同	大傳馬場町三丁目二	萬卷堂	東生鐵五郎	同	廣文堂	大倉廣三郎
同	通油町一八	新和泉町四	小室松太郎	同	第二廣文堂	大倉隆四郎
同	堀留町三丁目四	住吉町一三	法木德兵衛	同	扶桑堂	町田濱雄
同	住吉町二〇			同		
京橋區						
同	京橋區南橋町一三			同		
同	南橋町一八			同		
同	南橋町一八			同		
同	北橋町二			同		

附

赤坂區一ツ木町二四
同 青山南町四丁目二八
同 青山北町六丁目三七

四谷區

四谷區傳馬町三丁目二三
同 愛佳町二
同 永住町二
同 本村町九
同 麹町十二丁目二四

牛込區

牛込區神樂町三丁目六
同 市々谷八幡町二
同 赤城下町七一
同 天神町一
同 天神町六四
同 山伏町三四
同 喜久井町三四
同 番町三二
同 山吹町三一

（川流堂第）須田研二
赤心社書店 山岸鐵次郎
山陽堂 萬納孫次郎

宮子書店 宮子音吉
東京書院 磯村政富
（フクヤ書店）鹿鹽龜吉
（彩文社）安西理三郎
（華事學指針社）櫻井幸次郎
（菊地屋）櫻井幸次郎

盛文堂 中村赤次郎
有則軒 河井源藏
近藤出版部 近藤圭造
積文堂 鈴木銅一
文采堂 吉田尊一
兩文館 飯島廣三郎
三浦書店 三浦常吉
（芳進堂）武田元吉
（金剛兄弟出版部）山田峰松
研玉堂

牛込區新小川町二〇二
同 早稻田鶴卷町四三

小石川區

小石川區表町六
同 下宮坂町一九
同 指ヶ谷町一三六
同 原町六
同 小日向水道町七三
同 音羽町四丁目一
同 關口町一四〇
同 高田豐川町一五

本郷區

本郷區本郷一丁目七
同 本郷一丁目七
同 本郷四丁目一
同 本郷四丁目八
同 本郷四丁目一〇
同 本郷四丁目二八
同 金助町三三

集成堂 石井清
三友堂書店 仙石衣枝

礪川堂 樋口政次
致遠堂 岩城杲
東京書籍株式會社
（鶴午出版社）高島大圓
（開成館）西野虎吉
早稻田大學 荒川信賢
出版部 里見謙吉
一二三館 栗本長七

日吉堂本店 菅谷興吉
桃華堂 久保榮七
伊勢屋 大西庄之助
由盛閣 關由藏
勝々堂 勝木吉勝
三光堂 栢原伊三郎
橋南堂 太田俣
東洋堂 吉田小三郎

附

牛込區春木町三丁目二一
同 春木町三丁目二二
同 本富士町二
同 本富士町二
同 本富士町二
同 本郷元町一丁目二〇
同 弓町一丁目四
同 森川町一
同 森川町一
同 湯島天神町三丁目三
同 龍岡町三四
同 湯島一丁目一
同 湯島切通坂町五
同 湯島切通坂町八
同 湯島切通坂町二二
同 東片町二六
同 西片町一三三三三
同 追分町八八
同 駒込千駄木町五〇
同 駒込千駄木町一一
同 駒込勤王町三七六

森江分店 森江英二
半田屋 山口德次郎
日本堂 布川甲三
日光堂 淺井光之助
盛春堂 關田倉吉
昭文堂 宮城伊兵衛
育成會 石川榮司
文成社 貞金近松
成器閣 土井勝吉
（此聚）田中慶太郎
文求堂 田中慶太郎
魁文堂 岩本米太郎
南江堂 小立鉦四郎
金原書店 金原一郎
本郷書院 吉田正太郎
秀文書院 伊村錦之助
岡崎屋 原田純一
海文社 山口啓之助
文明林 五十嵐專法
泰山堂 佐藤助治

下谷區徒士町一丁目一〇
同 徒士町三丁目一〇
同 徒士町三丁目二二
同 仲徒士町一丁目六
同 數寄屋町一五
同 北稻荷町四〇
同 練馬町一
同 東照門町五

日吉堂本店 菅谷興吉
桃華堂 久保榮七
伊勢屋 大西庄之助
由盛閣 關由藏
勝々堂 勝木吉勝
三光堂 栢原伊三郎
橋南堂 太田俣
東洋堂 吉田小三郎

錄

淺草區
淺草區茅町三丁目五
同 下平右衛門町九
同 旅籠町三丁目七
同 須賀町一八
同 須賀町二二
同 福井町一丁目一
同 福井町一丁目一一
同 新福井町一
同 猿屋町一七

松成堂 松成伊三郎
盛花堂 岡村庄兵衛
日吉堂 中村惣次郎
盛林堂 林甲子太郎
松陽堂 田中六藏
學友館 池村鶴吉
國華堂 三好菊太郎
秀美堂 山崎曉三郎
西村秀三郎

同	淺草區南元町一五	金壽堂	牧金之助
同	南元町一八	明治堂	小宮萬次郎
同	南元町二四	いろは書房	三輪逸次郎
同	南元町二八	箕田屋	濱島はま
同	南元町二八	盛陽堂	鈴木與八
同	南元町三五	共盟館	三輪真一
同	東三筋町九	金槇堂	鈴木輔
同	三好町七	大川屋	大川錠吉
同	黒船町一五	博盛堂	武田音作
同	飯防町九	順成堂	瀬山佐吉
同	北東仲町五	玉森堂	牧野准藏
同	淺草公園仲見世東側四三號	聚星堂	増田彦太郎

同	本所區龜澤町二丁目三五	園屋	三好伸雄
同	練町一丁目五一	木内商店	鈴木國松
同	永倉町二七	翰香館	杉本文三
同	新小梅町一二	萬書堂	田村奈良吉
同	林町二丁目七一	袋屋	東生真之助
同	向島須崎町一三〇	天香閣書樓	小宮常吉
同	深川區東森下町八五	慶雲堂	秋葉和助
同	常盤町一丁目一二		吉田幸次郎

圖書總目錄終

八日印刷
一日發行

正價金四圓

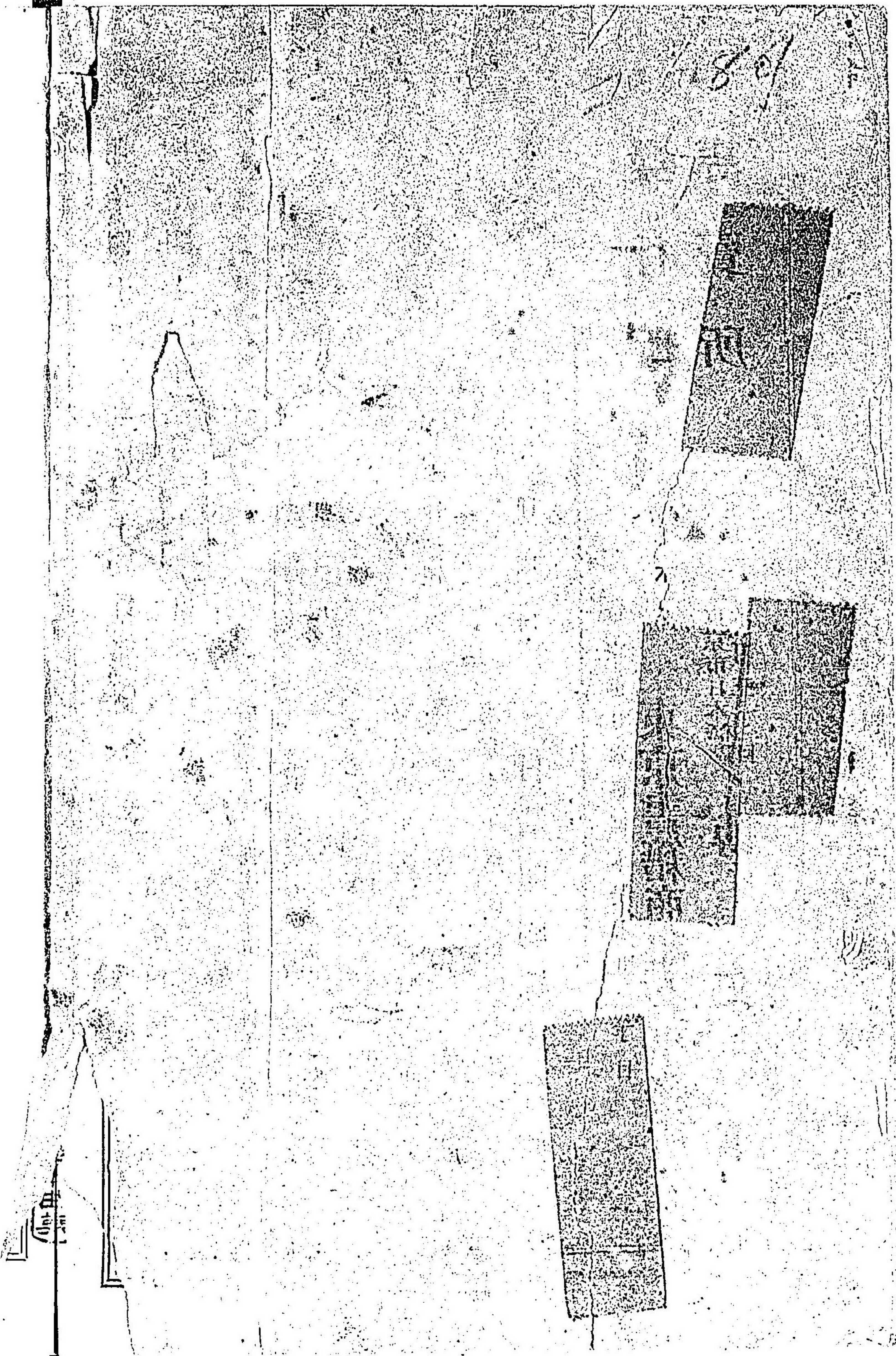
編輯者 東京書籍商組合

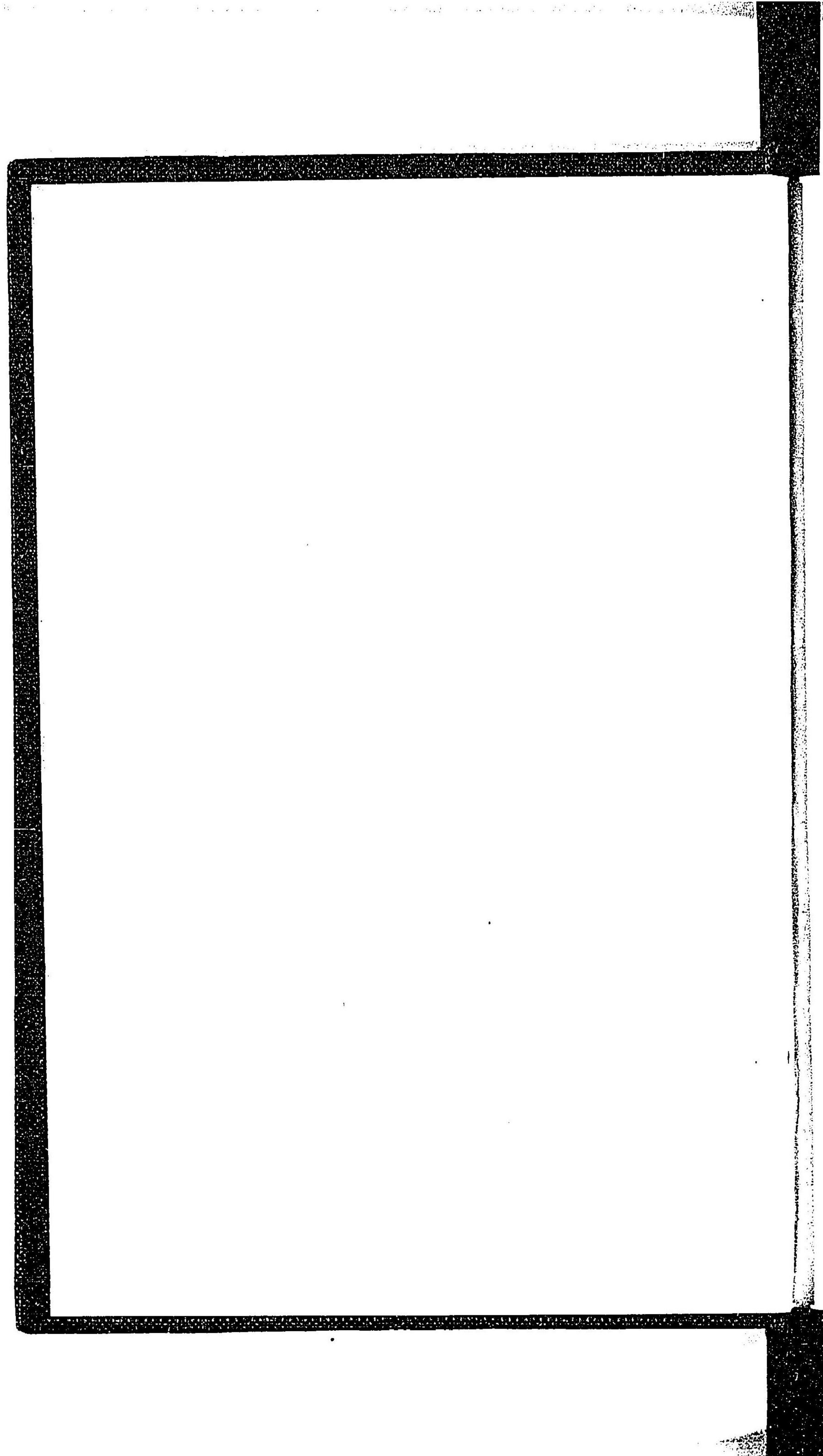
右代表者 大柴四郎

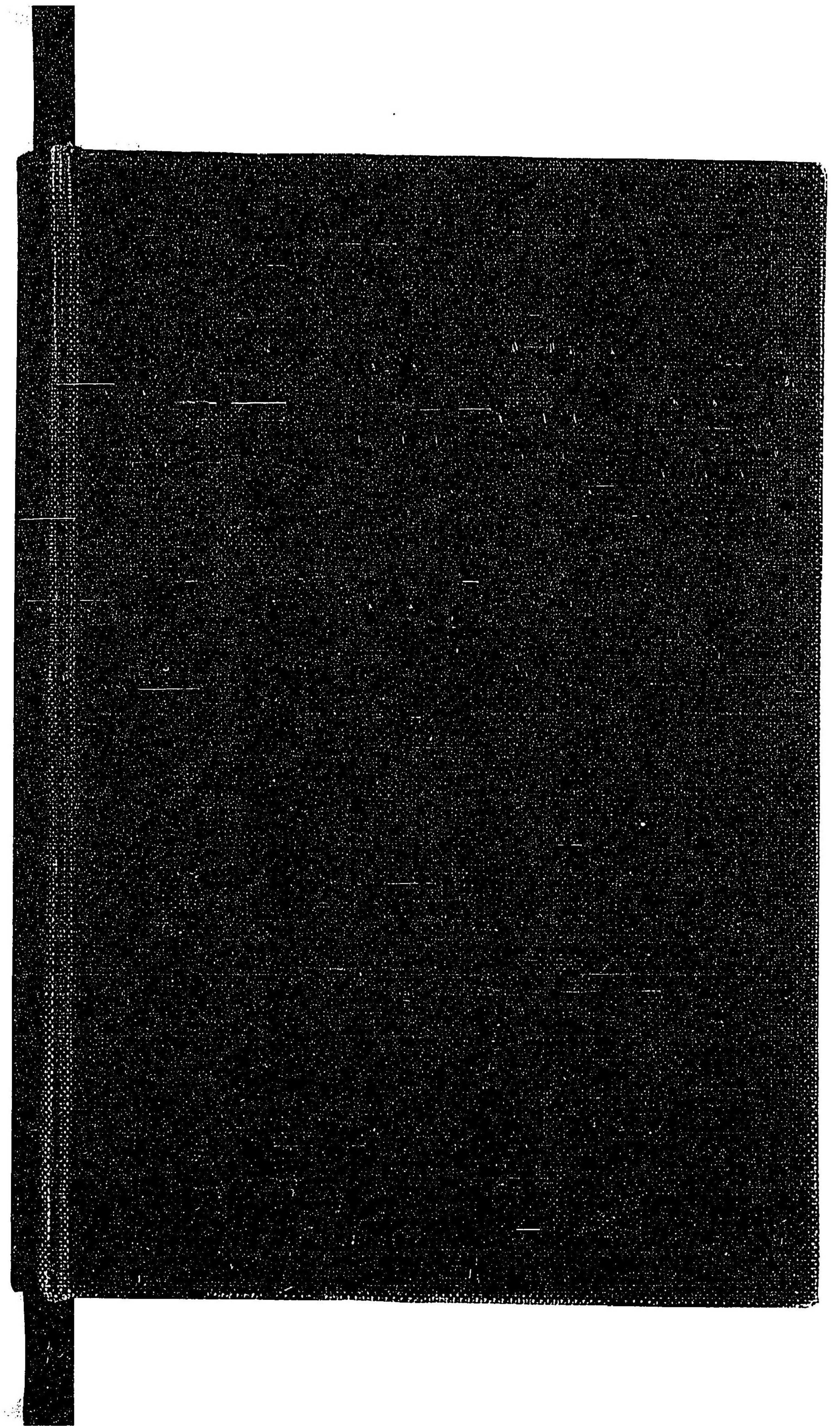
刷者 東京市牛込區板町七番地 渡邊八太郎

印刷所 東京市牛込區板町七番地 日清印刷株式會社

發行所 東京市日本橋區本材木町二丁目
 專賣所 東京市日本橋區本町三丁目
 東京書籍商組合事務所
 博文館







44
26

101572-000-4

44-26口

東京書籍商組合員図書総目録

東京書籍商組合事務所

M44

EAB-0060



